

科目名	アドバンスト・リスニング		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

ネイティブ・スピーカーがナチュラル・スピードで話す英語では、「綴りと音は一致しない」ということを知識として覚えるだけでなく、自らの耳と口を使って、音の連続を体系的に身に着け、リスニングの力及び話す力を向上させる。

##### 科目の概要

日常的なトピックに沿ったリスニングを中心とし、繰り返し声を出したり書いたりして、練習することで英語の表現を豊かにしていく。

##### 学修目標

1. ネイティブ・スピーカーの発する生の英語を聞き取れるようになる
2. 結果としてTOEIC TESTの点数が向上する

#### 内容

第1回：イントロダクション ( 授業の目標、進め方、注意事項等を説明 )

第2回：Unit 1: Asking and answering personal information questions

第3回：Unit 2: Describing people / Unit 3; Asking and talking about special event

第4回：Unit 4: Asking and talking about school subject

第5回：Unit 5: Asking and talking about a trip

第6回：Unit 6: Asking about and describing homes

第7回：Unit 7: Discussing and bargaining for customer goods

第8回：Unit 8: Asking about and describing jobs

第9回：Unit 9: Asking for information and making excuses

第10回：Unit 10: Asking for and giving tour information

第11回：Unit 11: Placing and taking orders for take-out food

第12回：Unit 12: Asking and talking about stress and relaxation

第13回：Unit 13: Asking and talking about news stories / Unit 14; Talking about people you admire

第14回：Unit 15: Asking and talking about medical conditions

第15回：まとめ

\* 予定は変更されることがあります。

#### 評価

授業の中で行うテスト 80%、授業貢献度 20% 総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

予習；授業でやるunitの解説を読んてくること

復習；授業でやったところを発音し、練習すること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Hear Me Out 2 著者；David Nunan / Noriko Tomioka 出版社；CENGAGE Learning

；

科目名	メディア文化論		
担当教員名	竹野 真帆		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

現代においては「メディア」は私たちの精神もしくは身体の一部と化している。かつてメディアとは、私たちに様々なもの（意味やメッセージ）を届ける「乗り物」であると思われてきた。CMでもコミックでも、新聞や小説や映画やインターネットなどなどであっても、その基本的な認識は変わっていないように思われる。つまり、「メディアはメッセージ」であり、メディアとは単なる情報伝達の道具だと考えられ、もちろん現代においてもなおその文言には十分に意義があり、また、正しいが、現代においては、「メディアはメッセージであるが、単なるメッセージではない」という方がより正しい。本講義においては、この「単なるメッセージではない」という部分が実際に何を意味しているのかを様々な現代的なメディアの事例を学び、考える。

メディアとは何であるかを学ぶことを通して、講義で取り上げるテーマについて広く理解することを第一の目的とする。また、メディア分析の結果を考察し、望ましいメディアのありかた、もしくは、社会のあり方について提案できる力を得ることを目標とする。

#### 内容

第1週 導入 メディアとは何か：マクルーハン『メディア論』を通して

第2週 メディア論の背景

メディアと身体：音声と映像と文字 - キットラー『グラモフォン・フィルム・タイプライター』の理解を通して

第3週 メディア論の背景

メディアと文字：オング『声の文化と文字の文化』/ウォーフ『言語・思考・現実』を通して

第4週 マスコミと文化：新聞・雑誌・テレビなどのマスコミは文化的価値観にどのような影響を及ぼしているか

第5週 電子的通信網と文化：インターネットに代表される電子的通信網と文化的価値観との関係について考える

第6週 SNSと文化：Twitter・Facebook・InstagramなどのSNSと文化的価値観との関係について考える

第7週 娯楽系メディアと文化：映画は文化的価値観にどのような影響を及ぼしているのか

第8週 娯楽系メディアと文化：コミックは文化的価値観にどのような影響を及ぼしているのか

第9週 娯楽系メディアと文化：アニメは文化的価値観にどのような影響を及ぼしているのか

第10週 娯楽系メディアと文化：ゲームは文化的価値観にどのような影響を及ぼしているのか

第11週 建築・芸術と文化：建築物や芸術作品によって醸成される文化的価値とは何か

第12週 音楽と文化：音楽メディアの現状と、文化的価値との関係について

第13週 メディア分析の基礎理論：解釈学概観

第14週 メディア分析の基礎理論：映画映像論

第15週 テスト

#### 評価

平常点20%、レポート80%で総合して評価する。

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

日常的にメディアの観察と収集に励むこと。文化現象を観察すること。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な教材については授業内で適宜、説明します。

科目名	放送概論		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

暮らしの中のことば、とくに情報メディアで使われていることばに着目し、メディアの役割や課題について考察する。さらに個人とメディアとの関わり方を考える。

#### 科目の概要

私たちはマスメディアによって世の中の情報を入手している。一方インターネットを活用することで、私たち一人ひとりが情報発信者として世の中の動きに参加できる時代になっている。放送を取り巻く環境の変化や歴史を学び、放送の仕事の内容やことばに対する姿勢に着目する。さらに個人が放送とどのようにかかわれば良いのかを考えていく。課外授業や外部の講師を招く可能性もあるので、特に熱心な学生の参加を希望する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

自分の判断で放送やインターネットを上手に利用し情報社会と関わっていく姿勢を身につける。

#### 内容

1	ガイダンス 情報メディアとことば
2	放送の歴史とメディア・リテラシー
3	放送は何を伝えてきたか～テレビドラマを分析
4	テレビと視聴率
5	放送博物館について
6	コマーシャルのことば
7	雑誌や新聞のことば
8	番組制作とことば
9	ディレクターの仕事とことば
10	アナウンサーの仕事と日本語
11	記者の仕事と報道のことば
12	イベントとことば
13	アーカイブス事業と戦争証言
14	インターネットのことば～情報発信者として
15	まとめ

#### 評価

日頃の授業への取り組み(20%) ミニレポート(40%) 期末レポート(40%) などから総合的に判断し、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】資料を読む。指定された番組を視聴して疑問点などをまとめる。

【事後学修】ミニレポートなどを書く。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使わない。

【参考図書】授業で紹介する。

科目名	環境と社会		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディア群科目として、地球環境問題の様々な側面について考える。

地球環境問題は、身近な生活環境の悪化を原因として発生した問題である。しかし、その改善策を考える際は、単に生活環境を改善して、人間にとって住みやすい環境を作りなおすという視点だけでなく、地球の健康、つまりエコシステム (生態系) という視点から見ても望ましい策を考えるという動きが始まっている。この講義では、既に行われている具体的な対策について検討するとともに、エコシステムに注目する行動の基礎になった環境倫理学の視点も紹介して、生態系を重視する環境保護政策のあり方について考える。

環境問題の多様性を理解し、「環境学」の基礎を学ぶ。

## 内容

1	地球環境問題をどう捉えるか
2	環境を考える4つの視点 ( 1 ) : 市場優先派と制度重視派
3	環境を考える4つの視点 ( 2 ) : 生態系優先派と緑の社会正義派
4	環境保護対策の考え方
5	国際協力体制の始まり
6	国際協力体制の発展
7	環境問題における国際対立
8	環境問題と経済格差
9	環境問題とジェンダー
10	環境問題と民主主義
11	環境NGO
12	環境倫理学
13	生態系を守る環境保護政策
14	環境学への視座
15	まとめ

## 評価

レポート ( 60% )、試験 ( 40% ) で総合評価。60点以上を合格とする。

【フィードバック】レポートの総評は授業で発表、希望者には個々のコメントをつけて返却

## 授業外学習

【事前予習】新聞・ニュース等で、環境関連の出来事について情報を集める。

【事後学修】授業で説明された政治経済社会的背景を踏まえて、集めた情報を整理する。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】東京商工会議所編『eco検定公式テキスト』日本能率協会 2011年

【推薦書】京都大学地球環境学研究会 『地球環境学へのアプローチ』丸善 2008年；関礼子他『環境の社会学』有斐閣アルマ 2009年

【参考図書】ヴァンダナ・シヴァ 『生物多様性の危機』明石書店 2003年



科目名	環境と社会		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディア群科目として、地球環境問題の様々な側面について考える。

地球環境問題は、身近な生活環境の悪化を原因として発生した問題である。しかし、その改善策を考える際は、単に生活環境を改善して、人間にとって住みやすい環境を作りなおすという視点だけでなく、地球の健康、つまりエコシステム (生態系) という視点から見ても望ましい策を考えるという動きが始まっている。この講義では、既に行われている具体的な対策について検討するとともに、エコシステムに注目する行動の基礎になった環境倫理学の視点も紹介して、生態系を重視する環境保護政策のあり方について考える。

環境問題の多様性を理解し、「環境学」の基礎を学ぶ。

## 内容

1	地球環境問題をどう捉えるか
2	環境を考える4つの視点 ( 1 ) : 市場優先派と制度重視派
3	環境を考える4つの視点 ( 2 ) : 生態系優先派と緑の社会正義派
4	環境保護対策の考え方
5	国際協力体制の始まり
6	国際協力体制の発展
7	環境問題における国際対立
8	環境問題と経済格差
9	環境問題とジェンダー
10	環境問題と民主主義
11	環境NGO
12	環境倫理学
13	生態系を守る環境保護政策
14	環境学への視座
15	まとめ

## 評価

レポート (60%)、試験 (40%) で総合評価。60点以上を合格とする。

【フィードバック】レポートの総評は授業で発表、希望者には個々のコメントをつけて返却

## 授業外学習

【事前予習】新聞・ニュース等で、環境関連の出来事について情報を集める。

【事後学修】授業で説明された政治経済社会的背景を踏まえて、集めた情報を整理する。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】東京商工会議所編『eco検定公式テキスト』日本能率協会 2011年

【推薦書】京都大学地球環境学研究会 『地球環境学へのアプローチ』丸善 2008年；関礼子他『環境の社会学』有斐閣アルマ 2009年

【参考図書】ヴァンダナ・シヴァ 『生物多様性の危機』明石書店 2003年

科目名	エンターテインメントメディア論		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「ディズニー研究」と聞いて何を思い浮かべるかは人によって違う筈ですが、この科目では、おもにディズニー映画作品を研究します。映画と原作との比較、それぞれの作品のヒロイン像と時代背景から「ディズニーとは何か」を探る研究の方法を学び、実践する授業です。

#### 科目の概要

ディズニーの映画作品と原作を比較し、その違いを探ります。また、それぞれの作品に取り上げられたヒロインの特徴を捉え、それが作られた時代の背景とどのようにつながっているのかを探ります。研究の手法を学んだあと、履修生にもグループを組んで研究発表を行ってもらうため、積極的に学び、調べ、グループ活動にかかわる姿勢が求められます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

1. ディズニー映画とその原作の違い、その意図を知る
2. 作品が取り上げられた時代背景と映画のヒロイン像のつながりを理解する
3. 文化研究の方法を学び自ら実践できるようになる

#### 内容

( 注意 ) この科目はグループでの研究発表を行うため、履修希望者の数によっては履修制限をかける可能性があります。ディズニー映画とその原作を比較し、変更の意図を探る。また、作品が生まれた時代背景との関連について考える。最初の数回の講義で研究の方法を紹介後、履修生グループが、リサーチ・研究発表を行う。

1	ガイダンス・ Disney研究とは
2	『シンデレラ』 - 原作を読む
3	『シンデレラ』 - 映画と原作
4	研究書・論文の読み方
5	文献の探し方
6	グループ研究発表準備 グループ分け・テーマ選択・分担決め
7	グループ研究発表準備 グループ活動及び進捗報告
8	グループ研究発表準備 グループ活動及び進捗報告
9	グループ研究発表準備 グループ活動及び進捗報告
10	グループ研究発表 『美女と野獣』( 仮 )
11	グループ研究発表 『アラジン』( 仮 )
12	グループ研究発表 『ポカホンタス』( 仮 )
13	グループ研究発表 『プリンセスと魔法のキス』( 仮 )
14	グループ研究発表 『塔の上のラプンツェル』( 仮 )
15	まとめ

#### 評価

発表40点、レポート40点、授業の参加態度20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】映画全編を授業で紹介する時間はないので、テーマとなる映画作品を事前に見ておくこと

【事後学修】講義、発表のポイントをノートにまとめる

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業内で指示する

【推薦書】授業内で紹介

【参考図書】授業内で紹介

科目名	マンガ・アニメ論		
担当教員名	仁藤 潤		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、マンガ、アニメ、映画に関心のある学生向けの内容である。

#### 科目の概要

国内外のマンガ、アニメ、映画を研究をする。

#### 学修目標 ( =到達目標 )

今まで知らなかったマンガ、アニメ、映画の世界に触れ、最終発表会で研究発表を行う。

#### 内容

1	ガイダンス
2	世界の短編アニメーション
3	日本の短編アニメーション
4	ディズニーアニメーション1 白雪姫 ピノキオ ダンボ 他
5	ディズニーアニメーション2 シンデレラ 不思議の国のアリス ピーターパン 他
6	ディズニーアニメーション3 わんわん物語 眠れる森の美女 101匹わんちゃん 他
7	ディズニーアニメーション4 美女と野獣 ライオンキング アナと雪の女王 他
8	ピクサーアニメーション トイストーリー モンスターズインク カーズ 他
9	日本アニメ・マンガ史1 魔法少女アニメ 他
10	日本アニメ・マンガ史2 スポ根マンガ 他
11	日本のアニメとマンガ 手塚治虫 他
12	日本のアニメとマンガ 赤塚不二夫 藤子不二雄 石ノ森章太郎 他
13	日本のアニメとマンガ 宮崎駿 庵野秀明 新海誠 他
14	最終研究発表会
15	最終研究発表会

#### 評価

課題点：80% 授業に対する意欲・関心・態度：20%

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】メモを取る為の筆記用具を準備する。パワーポイント等のプレゼンソフトの使い方を習得しておく。

【事後学修】研究発表会の準備を計画的に行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない

【推薦書】授業内で提示

【参考図書】授業内で提示

科目名	インターネット社会論		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

インターネットによる社会の変化とその問題点を理解する

科目の概要

インターネットの登場は、既存の通信のあり方、産業、社会と国家のあり方に大きな変化をもたらした。またインターネットが大きな位置を社会において占めると共に様々な問題も発生してきている。こうした社会の変化やインターネットの問題点について考察する。

学修目標 ( =到達目標 )

インターネットが社会にどのような変化や影響を与えているか・どのような問題が起こるかを理解し、インターネットの活用に資する思考力を身につけることを目標とする

## 内容

- 1.オリエンテーション インターネット社会とは
- 2.インターネット社会の可能性 インターネット社会の未来、電子図書館、IoT
- 3.インターネット社会の危険性 インターネット依存症、知識の断片化・希薄化、情報漏えい
- 4.インターネットの影響1 ネットとメディア テレビはなくなるのか
- 5.インターネットの影響2 ネットとメディア 新聞はなくなるのか
- 6.インターネットの影響3 ネットと本、本屋・本はなくなるのか
- 7.インターネットの影響4 ネットと音楽、CDは売れなくなるのか
- 8.インターネット社会1 電子取引社会、eコマース・ネットショッピング、経済のグローバル化
- 9.インターネット社会2 情報無料社会-産業再編、貧者への福音か格差の拡大か
- 10.インターネット社会のあり方1 セキュリティ、パスワード、個人情報
- 11.インターネット社会のあり方2 監視社会、監視国家
- 12.インターネット社会のあり方3 ネットをめぐる法制度、ネットの規制・検閲
- 13.インターネットとグローバリズム・ローカリズム 国境はなくなるか・地域は結びつくか
- 14.インターネットと情報倫理 ネットケット、誹謗中傷、炎上現象
- 15.まとめ

ネットと世論形成、SNS・掲示板、電子政府等については「生活と政治行政」において取り上げる

## 評価

授業での課題 ( 40% ) とレポート ( 40% )、授業への参加度 ( 20% ) を総合し、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に予告された授業内容、関連する時事問題等について予習する

【事後学修】授業で学習した内容について調べ、自分の意見・考え方をまとめる

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業において資料等を用意する。



科目名	メディア産業論		
担当教員名	石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

旧メディア4媒体 (新聞、出版、テレビ、ラジオ) のビジネスモデルを軸とし、これと密接に絡む新領域メディア (インターネット、電子媒体) も俯瞰しながらメディアビジネスを概観し、その理解に努める。メディアから発信されるコンテンツの重要性を押さえつつ、各メディア企業の良質のコンテンツ発信を支える「広告」の役割も見つめて、今後を展望する。

#### 科目の概要

新聞、テレビ、雑誌、ラジオという既存メディアの厳しいビジネス環境とともに、インターネット、電子書籍等の展開を学ぶ。これら新旧のメディア企業の生命線である広告ビジネスについても認識を深める。

#### 学修の目標

スマホが重宝される時代にあって、現代人が湯水のように接するメディアのビジネス構造を理解し、ビジネス的観点からメディアリテラシーを高める。メディアビジネスの現場で働く人の現実を的確に把握し、メディアへの就職を志向する学生のモチベーションをアップさせる。

内容	
1	ガイダンス ( ネット社会における新聞やテレビの明日から説き起こす )
2	メディアの変貌の中のロマンとソロバン ( 紙とネット課金との二刀流時代 )
3	広告会社あつてのメディア企業 ( 電通等 )
4	全国紙の今
5	地方紙の今
6	通信社の今 ( 共同通信、時事通信 ) と地方紙
7	雑誌・出版界と編集者
8	紙の本ができるまで
9	電子書籍と本の未来
10	テレビ概説 ( 民放とNHK )
11	テレビの番組制作と視聴率
12	テレビキー局と系列局、独立局
13	ラジオ概説
14	エンターテインメントビジネス
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み70点、課題執筆30点の計100点で、60点以上を合格とします。

## 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	国際マスコミュニケーション論		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格：メディアコミュニケーション学科選択科目

概要：「国際マスコミュニケーション」とは、マス・メディアを中心にした国を越えた社会の間のコミュニケーションをいいます。例えば、高校のときに韓国に旅行にいかれた方は、向こうでNHKを見ることが出来るのに驚いたのではないのでしょうか。また、今や日本のマンガやアニメは世界中で人気があるのはよくご存じだと思います。グローバル化の進展に伴い、こうした国際マスコミュニケーションは質・量共に増大しつづけており、それが国家および社会にとってどのような影響を与えているのかを考えるのが本講義の目的です。「国境を越えるマス・コミュニケーションのインパクト」が講義のサブタイトルです。

取り扱うテーマは、前半は、「国際マスコミュニケーション」を議論していく上で必要な、基本的な事象や概念について、具体的な事例を交えながら解説していきます。取り扱う主な事象・概念は、文化帝国主義、情報主権、国境を越えるテレビ、集团的帰属意識などです。後半は、ヨーロッパ・北米などにおける具体的な「国際マスコミュニケーション」の状況を紹介しながら、前半で解説した概念の理解を深めていきます。講義の締めくくりでは、現在の日本を含めたアジアを取り巻く「国際マスコミュニケーション」の状況を考えてみたいと思っています。

学修目標：現代における国際マスコミュニケーションの意義と問題点を理解する。

内容	
1	イントロダクション
2	現代の国際マスコミュニケーションの特徴
3	現代の国際マスコミュニケーションの特徴
4	マスコミュニケーションと国民的帰属意識
5	マスコミュニケーションと国民的帰属意識
6	国境を越えるマスコミュニケーション(TV)は何を伝えるのか
7	中間まとめ
8	「国境を越えるマスコミュニケーション」とステレオタイプ
9	「国境を越えるマスコミュニケーション」とステレオタイプ
10	世界情報秩序をめぐる議論と情報主権・文化帝国主義
11	北アメリカにおける国際マスコミュニケーション
12	ヨーロッパにおける国際マスコミュニケーション
13	日韓間の国際マスコミュニケーション
14	アジアにおける国際マスコミュニケーション
15	まとめ

評価

中間テスト (41%) および期末レポート (59%)

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】国際ニュースや国際的なメディアの動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】ジョン・トムリンソン『文化帝国主義』青土社 361.6/T

田中浩編著『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』龍星出版、1996年

渡辺武達、山口功二、野原仁編『メディア用語基本事典』世界思想社

田中浩編著『EUを考える』未来社、2011年

玄武岩編『越境するメディアと東アジア リージョナル放送の構築に向けて』勉誠出版、2015年

科目名	コミュニケーションの心理学		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科の専門選択科目として、人間のコミュニケーション行動に興味をもつ学生を対象とする。コミュニケーション行動を科学的に理解する基礎を身につける。

##### 科目の概要

コミュニケーション活動とは、メッセージを送る人と受け取る人との共同作業であり、メッセージという情報が表現され伝達され受容され理解されるというプロセスからなるものである。このプロセスのなかで、人間がどのような行動を行っているのか、心や行動にどのような影響を及ぼすのか、について明らかにされている心理学的なメカニズムや法則性を中心に述べる。私たちが普通に行っている行動に影響を及ぼす心理的な要因について、論理的かつ分析的に理解する知識を身につけるとともに、行動の潜在的な意味や目的を客観的に考える態度や視点を養ってほしい。

##### 学修目標

評価基準ともなる学習到達目標は、1)教科書の記述内容を理解しようと努力したか、2)コミュニケーション行動に関するメカニズムや法則性を理解したか、3)コミュニケーション行動に関する理論を日常生活での行動に適用して説明できるかである。

#### 内容

- 1．コミュニケーション行動と心理学
- 2．対人コミュニケーションの成立
- 3．対人コミュニケーションの特徴
- 4．言語とコミュニケーション
- 5．言語コミュニケーションの特質
- 6．非言語メディアによるコミュニケーション
- 7．自己開示の概念と領域
- 8．自己開示が果たす機能
- 9．自己開示を規定する要因
- 10．自己呈示と社会的スキル
- 11．防衛的自己呈示と主張的自己提示
- 12．他者を動かすコミュニケーション ( 要請承諾・説得 )
- 13．説得的コミュニケーションと態度変容
- 14．要請技法と心理的效果
- 15．まとめ

#### 評価

授業内の小課題10点、テスト90点、の計100点満点により評価を行う  
総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】学習予定である教科書の該当章を読み、概要を理解するように努める

【事後学修】学習内容を整理し直すとともに、日常生活での身近な行動に当てはめてみる

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 深田博己著 『インターパーソナルコミュニケーション』 北大路書房

科目名	教育とメディア		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、メディアコミュニケーション学科専門選択科目である。教育分野とメディアに関わる内容となるので、教職履修者、あるいは教育分野でのメディア活用に興味関心のある学生に向いている。

#### 科目の概要

学校教育・生涯学習などの教育分野では、新しいメディア活用に関する研究やメディアリテラシー育成のための教育が実践されている。例えば、インターネットの活用、デジタル教科書、電子黒板、e-ラーニング、クラウドサービスの活用などがある。またICTの活用に伴い、メディアリテラシー教育なども重要な課題である。本科目では、教育メディアの歴史からはじめ、情報機器端末、アプリケーション、メディアリテラシー教育、最新のICTを利用した教育環境をテーマとして取り上げる。

また、ICTを活用した簡単な教材作成の方法と開発を行い、教育とメディアへの理解を深める。

#### 学修目標

- ・教育とメディアの関係やそれぞれの特徴が理解できる。
- ・メディアや情報に関わる教育の現状について考察を深めることができる。
- ・教材の開発を通して、ICTを活用した教育の理解を深める。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	メディアとメッセージ
3	教育モデルとメディア
4	教育とメディアの歴史と関係
5	子どもと情報メディア ( 1 )
6	子どもと情報メディア ( 2 )
7	情報教育とメディアリテラシ ( 1 )
8	情報教育とメディアリテラシ ( 2 )
9	メディアを活用した新しい学習 ( 1 )
10	メディアを活用した新しい学習 ( 2 )
11	メディアを活用した教材の設計
12	メディアを活用した教材の開発 ( 1 )
13	メディアを活用した教材の開発 ( 2 )
14	教材の評価
15	まとめ

#### 評価

各テーマ毎にレポート課題 ( 3 ~ 4 ) を合計 6 0 % と、教材開発 4 0 % とし、総合評価 6 0 % 以上で合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に提供するWeb教材での予習

【事後学修】事後に実施する課題レポートの実施

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指示する。



科目名	政治とメディア		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディア群科目として、政治についての情報の流れについて学ぶ。

人々が政治についての情報を入手する方法は色々ある。その中でも、職業として政治にかかわる人々 ( 政治家、官僚 ) も、素人として政治に参加する人々 ( 有権者 ) が最近特に注目しているのがマスメディアとインターネットメディアである。授業では、この2つを取り上げ、それぞれの特徴や問題点を議論する。また、情報のグローバル化が政治コミュニケーションに及ぼす影響についても考察する。

人々がメディアを通じてどのように政治情報を発信、受信しているか、発信している側の意図は何か、それを受信する側は何を感じるかなど、政治コミュニケーションの現状を理解する。

内容	
1	政治コミュニケーションとは何か
2	発信者と受信者の関係 ( 1 ) : 直接対話
3	発信者と受信者の関係 ( 2 ) : 間接対話
4	マスメディアの自由
5	マスメディアの制約
6	マスメディアと世論
7	インターネットメディアの発展
8	インターネットメディアの影響力
9	メディアの政治的影響
10	政治参加の方法としてのメディア ( 1 ) : 選挙キャンペーン
11	政治参加の方法としてのメディア ( 2 ) : 政治的動員
12	選挙報道
13	政治コミュニケーションの国際比較 ( 1 ) : 欧米諸国
14	政治コミュニケーションの国際比較 ( 2 ) : アジア諸国
15	まとめ

評価

レポート ( 50% )、試験 ( 50% ) で総合評価。60点以上を合格とする。

【フィードバック】レポートの総評は授業で発表、希望者には個々のコメントをつけて返却

授業外学習

【事前予習】マスコミやネットで伝えられる政治ニュースをフォローする。

【事後学修】授業で説明された分析的視点からニュースを分析する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】蒲島郁夫他 『メディアと政治』有斐閣アルマ 2007年

【推薦書】遠藤薫 『間メディア社会における世論と選挙』東京電機大学出版局 2011年

【参考書】平田オリザ、松井孝治 『総理の原稿』岩波書店 2011年

科目名	地域メディア論		
担当教員名	石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

いわゆる全国紙 (新聞)、キー局 (テレビ) の購読・視聴率が高い大都市圏にあっては、それらがメディアの総称と受け取られがちだが、地方にあってはその地域の地方紙・地域紙や民放などの影響力が強く、地域の世論形成の役割を担っている。また、県民・市民など地域住民の信頼度、評価も高い。大都市圏の地域への愛着度と地方でのそれを比較した場合、濃淡の差はメディア状況と相関関係があるとの指摘もある。

本講義では、こうした実態が真に存在するのか、存在するとしてその背景は何かを全国の地方紙を使いながら考える。その上で、本学キャンパスがある埼玉県メディア状況と県民意識 (愛県度) を解明していく。

さらに、埼玉県域の主要メディア企業 (埼玉新聞社、テレビ埼玉、FMNACK5、Jコムさいたま、地方出版社、コミュニティFM) の現況や企業姿を踏まえて地域メディアの意義、メジャーメディアとの違い、地域メディアが培う県民性などを学ぶ。

最近、ネットを活用して地域を限定した情報発信に取り組む媒体も出てきており、その実態や将来展望、SNSとの関連性などを学ぶ。

なお、埼玉にとどまらず首都圏エリア (関東地方) の地域メディアを必要に応じて取り上げていく。

内容	
1	授業ガイダンス, 地域の定義、メディアの定義
2	地域メディアと地域への愛着度の関係
3	首都圏のメディア状況と文化・県民性
4	地方紙の展開に見る地域メディア論 1
5	同 2
6	地方テレビ局の展開に見る地域メディア論
7	ケーブルテレビの展開に見る地域メディア論
8	地方出版論
9	FMラジオ局の展開にみる地域メディア論
10	コミュニティFMの展開にみる地域メディア論
11	インターネットを介した地域メディア論 1
12	同 2
13	地域情報を発信する事例検討
14	地域メディア論まとめ 存在意義とジャーナリズム性の確保
15	レポート作成

評価

毎回の授業出席状況 6 割、課題評価 2 割、最終的なレポート作成と評価 2 割とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】提示する課題の予習を行う

【事後学修】学んだテーマを掘り下げる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じて指示する。

科目名	生活と政治行政		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

## ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

### 科目の性格

政治行政、ネットと世論などに関わる基礎知識を日本の課題などの時事問題に関連付けながら学ぶ

### 科目の概要

政治的決定のルール、行政のしくみ、インターネットが世論、民主政治にどのような影響を与えるか、時事問題などを学ぶ。現在の課題(例えば、景気問題、少子高齢化と福祉の問題、財政赤字、憲法改正、原発再稼働、TPP、安全保障など)がどのように決められていくか、どのように決めていくべきかを考える。

### 学修目標(=到達目標)

現在の日本の課題を題材として政治行政、インターネットと民主政治の基礎知識を修得するのみでなく、その知識を生かしてものごとを把握する力、解決策を論じる力を身につけることを目標とする

## 内容

- 1 ガイダンス 現在の日本を取り巻く諸問題と政治行政、ネットと世論
- 2 現代日本政治の諸問題 安倍首相の目指すもの-安全保障、国際協力、憲法改正、アベノミクス
- 3 現代アメリカ政治の諸問題 トランプ大統領の諸政策、安全保障、アメリカを偉大に、保護主義、移民、日米関係
- 4 財政赤字と諸問題 財政赤字、福祉国家論と小さな政府、財政危機と社会保障、地方自治体と社会保障
- 5 政治のしくみ-国会・内閣、議院内閣制・大統領制、行政のしくみ-中央省庁・地方自治体の役割
- 6 政策決定システム 選挙と政権交代、与党と野党、官僚制度、長期政権と1年で交代する政権の違い
- 7 政策決定システム 法律・予算ができるまで
- 8 前半まとめ
- 9 メディアと世論 世論とは、マスメディア、インターネット
- 10 SNSと世論 フェイスブック、ミクシィ、電子掲示板、トランプ大統領のツイッターによる影響力
- 11 インターネットと選挙 マスメディアと選挙、「ネット選挙」解禁、ネットの影響力、ネット選挙と法規制
- 12 ネットによる世論形成の問題点 誹謗中傷、エンブレム問題に見る「正義の鉄槌」、受けるための極論、当事者による世論操作、国家・政府の検閲、世論操作、コントロール
- 13 ネット世論と個別課題-憲法改正、アベノミクス、ネットと政策評価
- 14 ネット世論の限界と可能性-匿名性と責任、政治行政のプレイヤーへの影響、情報発信による影響力-ウィキリークス・ウィキペディア、ネットメディア、個人の情報発信
- 15 後半まとめ

## 評価

小試験と課題など(70%)、平常点(30%)の総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に予告された授業内容、政治行政に関連する論点・時事問題等について予習する

【事後学修】授業で学習した論点・内容について調べ、それらについての自分の意見・考え方をまとめる

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

レジュメ・資料などを配布する。

【推薦書】堀江湛『政治学・行政学の基礎知識 第3版』一藝社

岩井奉信『立法過程』東京大学出版会

科目名	国際関係論		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディア群科目として、国際社会の全体像を理解する。

国際問題を、国際社会という舞台に現れる登場人物 ( アクター )、出来事 ( ストーリー ) という視点でとらえ、20世紀後半の国際問題の流れを再考する。その上で21世紀の国際社会が直面している問題の特徴を探る。同じストーリーでもアクターによって解釈が異なる場合についても検証する。新たな情報手段や科学技術の登場によって、これまでとは異なる国際問題が発生する可能性についても論じる。

国際社会の動きと日本、さらに日本国内で身の回りに起きている出来事との関連性を理解し、国際社会が日本から遠いところで、自分に関係なく動いているのではないことを学ぶ。

内容	
1	国際社会への視点：日本の役割
2	20世紀の国際関係 ( 1 ) : 冷戦の始まり
3	20世紀の国際関係 ( 2 ) : 冷戦の終結
4	地域紛争 ( 1 ) : 歴史
5	地域紛争 ( 2 ) : 現状
6	テロリズム
7	南北問題 ( 1 ) : 格差
8	南北問題 ( 2 ) : 貧困
9	環境問題 ( 1 ) : 地球環境問題
10	環境問題 ( 2 ) : 国際協力
11	人権問題
12	国際社会の協力関係 ( 1 ) : グローバリゼーション
13	国際社会の協力関係 ( 2 ) : リージョナリゼーション
14	21世紀の国際社会と日本
15	まとめ

評価

レポート ( 50% )、試験 ( 50% ) で総合評価。総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】レポートの総評は授業で発表、希望者には個々のコメントをつけて返却

授業外学習

【事前予習】個々に選択した国あるいは指導者についてのニュースを集める。

【事後学修】授業で説明された国際政治の背景に重ねて、選択した国・指導者の動きについて考える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】原彬久 『国際関係学講義（第4版）』有斐閣 2011年

【推薦書】渡邊啓貴編 『新版ヨーロッパ国際関係史』有斐閣アルマ 2008年

【参考図書】猪口孝 編 『国際関係リーディングズ』東洋書林 2004年

東大作 『平和構築 - アフガン、東ティモールの現場から』 岩波新書 2009年



科目名	映像文化論		
担当教員名	江藤 茂博		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 映像文化の成立と展開に、研究・批評的な観点の置き所を説明しながら、現代文化への理解を講義と映像資料とで手に入れてもらう科目である。

科目の概要 三部構成で、最初に映像文化史をジャンル別に資料を提示しながら講義する。次に、日本のアニメーション史の資料と話題を中心にした映像文化史を講義する。最後に、筒井康隆の小説「時をかける少女」の映像化作品を取り上げることで、研究・批評の方法を案内する。

学修目標 ( =到達目標 ) 映像表現の物語の歴史に関する知識と研究・批評の方法を身につけてもらう。

内容	
1	映像表現の歴史
2	写真表現の文化史
3	漫画とアニメーション
4	映画と文学
5	テレビ文化とゲーム文化
6	アニメの映像文化1 出発期の日本アニメーション史
7	アニメの映像文化2 東映アニメーションの時代
8	アニメの映像文化3 テレビアニメーションの登場
9	アニメの映像文化4 アニメブーム第一期と第二期
10	アニメの映像文化5 ジブリのアニメ映画
11	アニメの映像文化6 漫画・ゲーム・ライトノベルとアニメ
12	映像と文芸1 時をかける少女とテレビドラマ
13	映像と文芸2 時をかける少女と映画
14	映像と文芸3 時をかける少女とアニメ
15	まとめ 映像文化論

#### 評価

授業への関心・意欲 (20パーセント)、授業内での参加度 (20パーセント)、小テスト (20パーセント) や小レポート (40パーセント) を合計100点として、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】指示された作品を読む・観ること

【事後学修】指示された作品を読む・観ること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しません

【推薦書】授業内で指示します

【参考図書】講義担当者の著作に映像文化関係のものが幾冊あります

科目名	雑誌文化論		
担当教員名	飯田 日出男		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

出版活動の中核をなす書籍出版、雑誌出版の現状と未来を、制作現場の具体的な仕事や実例を通して学ぶことで、業界をより具体的に把握・理解する。

#### 科目の概要

出版界の現状を大づかみすると同時に、とりわけ編集者の仕事について理解を深める。その一助として書籍や雑誌の模擬企画を立案、講評。ゲスト講師(現役編集者)の体験談を聞く機会を提供する。

#### 学修目標(=到達目標)

出版社などメディアにかかわる就職を希望する学生が業界やその仕事を理解できるようにする。さらに具体例を通して学ぶことでモチベーションのアップをはかる。

内容	
1	ガイダンス(出版界の現状)
2	出版社の仕組み
3	私の書籍論
4	書籍はこうしてつくられる(課題「書籍の企画を立ててみよう!」)
5	書籍編集の現場から(ゲスト講師との対談)
6	課題「書籍企画」の講評
7	私の雑誌論
8	雑誌はこうしてつくられる(課題「雑誌の企画を立ててみよう!」)
9	雑誌編集の現場から(ゲスト講師との対談)
10	課題「雑誌企画の講評」
11	編集者とはなにか
12	出版に携わる様々な仕事(ゲスト講師との対談)
13	電子書籍の課題と問題点(著作権と著作隣接権など)
14	出版界はこれからどうなる
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み70点、課題提出30点の計100点とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】片山一行 職業としての「編集者」 エイチアンドアイ

科目名	インターネットビジネス		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

メディアコミュニケーション学科の専門科目である。

科目の概要

インターネット上では様々な経済取引が拡大している。そこで、インターネット上での取引に関する問題を幅広く取り上げる。

学修目標(=到達目標)

インターネットに関わるビジネスモデルを理解する。

内容	
1	ガイダンス
2	インターネットの歴史としくみ
3	情報通信産業の規制緩和と競争
4	スマートフォン
5	インターネットと広告
6	SNSと無料通話アプリ
7	デジタル広告
8	インターネットと政治
9	ビッグデータとビジネス
10	ポイントサービスとマーケティング
11	インターネットのショッピングサイト
12	決済手段とインターネット
13	インターネットとセキュリティ
14	インターネットと法律
15	まとめ

評価

平常点(10%)、毎回の課題(30%)、最終レポート(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】次週取り上げるテーマのサイト確認。

【事後学修】プリントやサイトで確認。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】特にしていない。

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	ブランド戦略		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「ブランド」は現在の企業活動において、重要なテーマの一つですが、「ブランド」は今になって急に注目度を増したのではなく、古くは自らの保有物の証明書として捉えられていました。現在の「ブランド」への注目は、他の商品・サービスとの差別化を求める企業のマーケティング行動にのみ関係するのではなく、組織・商品や個人の「存在表明」として捉えられることにあります。

#### 科目の概要

「ブランド」を身近な事例に基いてわかりやすく説明していきます。「ブランド」とは何なのか。その機能や役割、管理について把握し、「ブランド」は消費者にとってどのように認知されるのか、消費者との関係についても理解を深めていきます。

#### 学修目標 (= 到達目標)

「ブランド」の基礎について理解を深め、具体例を基に「ブランド」の戦略や資産価値を述べるようにします。合わせて、自分自身の存在を「ブランド」と捉え、「ブランド」創造の手順を学習し、未来に向けた自らの将来ビジョンを設計する着眼力を高めるようにします。

## 内容

1	オリエンテーション
2	ブランドとは何か
3	マーケティング概念変遷とブランド
4	ブランドの構成要素 - 企業経営におけるブランドの果たす役割
5	ブランドの創造ものがたり
6	企業マーケティングとブランドの役割
7	地域ブランドとは何か
8	ブランド・エクイティ
9	新市場創造とブランド化計画
10	SWOT分析と自分自身のブランド化
11	ブランド確立に必要な「商品開発」の具体的手法・考え方について解説
12	開発したブランドの育成に関する考え方・手法について様々な角度から解説
13	ブランド・コミュニティ
14	ブランドのこれから
15	まとめ

## 評価

授業への参加30%・数回のレポート20%・筆記試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

### 【事前予習】

毎回の講義終了時に、次回の講義内容を説明し、予習の要点を指示する。

### 【事後学修】

毎回配布する資料で、講義内容を復習する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず。

【推薦書】授業で紹介します。

【参考図書】授業で紹介します。



科目名	広告デザイン		
担当教員名	星野 裕		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

広告表現とその手法からコミュニケーション・デザインのやりかたを学ぶ。その習得により、これからの人や社会に対して自身がどんな価値を提供でき、影響を与えることができるのかを考えてゆく。

#### 科目の概要

今までの常識が覆される新しい時代の広告の役割、メディアの種類、コミュニケーションの基本戦略を理解し、広告表現とデザインの具体的な手法を視覚的に体験する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

毎回配布される画像資料や解説シートを確認しながら講義を進行し、ノートを取り、リテラシーを深める。出題された課題を次の講義までに仕上げ、学習効果を確認していく。

1. 広告の基礎と役割を理解する。
2. 表現手法としてのコミュニケーションデザインを理解する。
3. 知的、グッドセンス、お洒落をデザインから体感する。
4. 自らを知るためのデザインを体験する。
5. 自分自身を戦略的にデザインする。

受講人数によってシラバスの構成を若干変更することがある

## 内容

1	イントロダクション～広告に楽しく踊らされてみよう！
2	街を広告から見てみてみよう～私の好きな広告・嫌いな広告
3	広告ってどんな人が作ってるんだろう～広告ビジネスの概要と広告戦略
4	CMのやりかたをのぞいてみよう～日本篇
5	CMのやりかたをのぞいてみよう～海外篇
6	広告コピーって口説き文句のことなんだ～言葉のチカラを掴む
7	広告コピーを書いてみよう～思いがけない組合せがグッドアイデアを生む
8	広告アイデアってどうやって思いつくんだろう～発想は知識から生まれる
9	大学を広告してみよう～大学を一行のコピーで書いてみる
10	大学を広告してみよう～大学を一枚の写真に撮ってみる
11	大学を広告してみよう～大学のCMを考えてみる
12	私を広告してみよう～私らしい写真を撮ってみよう
13	私を広告してみよう～私らしいコピーを書いてみよう
14	「私の広告」～鑑賞・批評会
15	まとめ～広告のやりかたで自分の未来をデザインしよう！

## 評価

授業への出席点（60％）課題提出と質（40％）を評価し、60点以上を合格とする。また、評価を受けるには三分の二以上の出席を条件とする。

## 授業外学習

【事前予習】随時出題された課題の調査・資料収集を行ない提出する。

【事後学修】講評からリメイクまたは新しいアイデアの蓄積を行ない、最終まとめ課題に応用する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない（配布するプリントのみ使用）

科目名	雑誌・ミニコミ編集		
担当教員名	石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

実際の新聞紙面を企画・執筆・レイアウトするリアリズムにあふれた制作プロセスを通し、学内・学外の取材を積極的に行う中で、メディアリテラシーと「文章力・編集力」を身に付ける。

##### 科目の概要

文章に見出しや写真を組み合わせることにより一覧性の紙面を作り上げる構成力を養う。取材対象ごとにチーム編成し、「協働」作業の大切さを理解。全体の作業の流れを視野に置きニュースの価値判断力も養う。編集ソフトを活用し、紙面制作に具体的に取り組む。

##### 学修の目標

実際に即した企画力・取材力・編集力・文章力の陶冶によって、プレゼン能力・筆力を含めたコミュニケーション能力、洞察力を養う。受講学生のメディア業界をはじめとした就職力・就業力アップにも繋がる授業を展開し、DTP編集に対する認識も深める。1人で簡単な紙面を作れる能力を培う。

#### 内容

- 1 データ ( 記事、写真 ) を基に、編集ソフトを活用して紙面づくりに取り組む。編集ソフトのマスターと習熟を最優先させる。
- 2 学内行事や学外イベント、人物の取材に取り組む。紙面の狙い ( 企画 )、取材対象の選定、取材準備、アポイントの取り方など事前準備を踏まえ、インタビュー・写真を含めた実際の取材を行い、取材後の記事制作、紙面編集・校正など一連の編集作業を体験する。
- 3 取材・編集行程でグループを作り、協働作業を基本とし、互いに補完しあうことを基本に置く。
- 4 一連の取り組みを通じて、「社会で通用する文章力」と「コミュニケーション力」を磨き、就職就業に大い役立つ「取材・執筆 ( 写真撮影も ) 」の醍醐味と、皆の英知と感性を頼りに多くの人に読んでもらえる完成物を作り上げた達成感を目指す。
- 5 通常授業の座学にとどまらず、キャンパスの内外での取材は急な対応も求められるため、スケジュールを守って成果物を出す実践的な授業であることを認識した上で受講してほしい。

#### 評価

「授業に対する意欲・関心・態度」50点、「課題等執筆制作」50点で、60 点以上を合格とします。

#### 授業外学習

- 【事前予習】インタビュー前の下調べ等を行う。編集ソフトの習熟
- 【事後学修】取材を踏まえテーマを掘り下げさせる。編集ソフトの習熟

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：『新聞用字用語集（記者ハンドブック）』（共同通信社）

科目名	DTP基礎		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科専門科目(旧カリ対応科目)である。

グラフィックソフトウェアの基礎およびグラフィックデザインでの活用方法の基礎を学修する。

#### 科目の概要

コンピュータによるグラフィックス技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆるメディアコンテンツ制作やデザイン分野で活用されており、必要不可欠なものとなっている。そこで、2次元でのデジタル画像の加工・編集について学び、グラフィックソフトウェアの基礎を習得する。

基礎作品制作、アクティブラーニングとしてチームで紙媒体の制作を行い、グラフィックデザインのワークフローの基礎を学習する。

#### 学修目標(=到達目標)

- ・ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学ぶ
- ・それぞれ目的に合致したソフトウェアとプロファイルを選択できる
- ・目的に合致した作成手法やグラフィックデザイン技術の基礎を習得する

#### 内容

毎時間、課題があり新しいことを学習していきますので、欠席しないようにしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席すると付いていけません。

データを保存するUSBメモリ、アイデア用のスケッチブックを準備してください。

1	ガイダンス、2次元CGの基礎
2	Photoshop基礎 (ビットマップ画像、ピクセルと解像度、基本操作)
3	Photoshop基礎 (レイヤー、ペイント、移動)
4	Photoshop基礎 (色調補正、調整レイヤー、レタッチツール)
5	Photoshop基礎 (マーキーツール、切り抜き、マスク)
6	画像合成作品の制作(テーマあり)
7	Illustrator基礎 (ベクター画像、プロファイル、アートボード、定規とガイド、基本操作)
8	Illustrator基礎 (図解描画、線描画(オープンパスとクローズパス)、ベジェ曲線)
9	Illustrator基礎 (オブジェクト、パス調整、色調整)
10	Illustrator基礎 (文字ツール、パスファインダ)、基礎作品制作 (ネームカード)
11	Illustrator基礎 (画像配置、クリッピングマスク)基礎作品制作 (ポストカード)
12	デザイン基礎 (企画・構図・レイアウト・コピー)
13	デザイン基礎 (ペアまたはチームによる制作、テーマあり)
14	デザイン基礎 (制作のつづき)

## 評価

ラフスケッチ/企画/アイデア等20%、制作物/作品(30%)、授業内課題(30%)、授業参加度(20%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】配布資料をよく読み、演習用データを確認しておくこと。

【事後学修】配布資料や演習用データを使用して練習課題に取り組むことにより、学習した内容をさらに身につける。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】必要に応じてプリントやPDFファイル、演習用データを配布

【推薦書】授業内で提示

【参考図書】授業内で提示

科目名	DTP基礎		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は、メディアコミュニケーション学科専門選択科目である。コンピュータソフトを使用した、創作活動に関心がある学生向けである。

#### 科目の概要

各個人がコンピュータでアプリケーションを操作しながら、画像編集・加工ソフトであるAdobe「Photoshop」や「Illustrator」の操作方法を具体的に学んでいく。

他の演習系授業とも連携しつつ、Webデザイン、紙のデザイン、アニメーション等、各個人の今後の創作活動に有用な基礎を養っていく。

#### 学修目標

- ・「Photoshop」や「Illustrator」の基本操作ができる。
- ・「Photoshop」や「Illustrator」の活動場面を理解し、紙媒体やデジタル媒体を対象としたデザインを自分なりに創作できる。

履修者数等の都合により一部内容を変更する場合がある。

内容	
1	オリエンテーション
2	画像編集(Photoshop)と画像描画(Illustrator)の基本について
3	画像の編集 加工の基礎
4	画像の編集 合成の基礎
5	画像の編集 色調の基礎
6	--第一回 課題の制作--
7	画像の編集 レイヤーを利用した複合的編集
8	画像の編集 マスク等を利用した応用的編集
9	--第二回 課題の制作--
10	画像の描画 名刺
11	画像の描画 ポスター
12	画像の描画 エディトリアルデザイン
13	--最終課題の制作--
14	--最終課題の制作--
15	まとめ

評価

授業への参画、課題の取り組み状況などの平常点40%、課題の評価点60%で評価する。

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】各々、演習室にてAdobe「Photoshop」の操作にトライしておくことが望ましい。

【事後学修】基本、紙の教材は仕様しない。前回までの内容を復習した状態で授業に参加することが望ましい。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

オリエンテーション時に指示する。



科目名	DTP応用		
担当教員名	木継 則幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

InDesignを使った実習を通じ、DTP及びエディトリアルデザインの基礎を学ぶ。グラフィックデザイン、エディトリアルデザイン、編集志望者を対象とする。

#### 科目の概要

エディトリアルデザインとは、文字と画像を用いて、世界観、時間軸、メッセージ性、ユーザビリティ等の多様な観点から情報伝達を図る、総合的な視覚表現である。

本科目では、観察、発想、設計、評価のプロセスを通じ、アプリケーションの基本操作法と、デザインの基礎となる考え方を身につける。

#### 学修目標(=到達目標)

エディトリアルデザインの基礎的な理解とスキルを習得。雑誌制作、新聞制作など実践的なエディトリアルデザインの実習過程に進むためのベースとなる。

## 内容

### 1週

#### オリエンテーション

授業の説明、エディトリアルデザインの概要、インデザインの概要、事例紹介

### 2-6週

#### 基礎演習1(パターン制作)

制作のワークフロー、インデザインの基本操作、ドキュメント作成、レイアウトの基本、カラー設定、テキストの基本設定、画像配置、プレゼンテーション

### 7-10週

#### 基礎演習2(フライヤー)

タイポグラフィ、情報設計、ユーザビリティ、レイアウトバランス、プレゼンテーション

### 11-14週

#### 基礎演習3(書籍、雑誌)

ページの基本操作、各種応用操作、ビジュアル表現、プレゼンテーション・講評

### 15週

#### まとめ

## 評価

提出作品・課題（50点）、準備作業の内容・プレゼンテーション（20点）、授業中の姿勢（30点）などを総合的に判断 総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】良質なアウトプットのためには、日常における観察と発想が必要。

授業ではアウトプットとディスカッションに専念するため、実習のためのリサーチ、ラフ制作、レポート等の準備作業とそのプレゼンテーションを課す。

【事後学修】実習内容を身につけるための課題を課す。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

オリエンテーション時に指示

科目名	Webデザイン基礎		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

1年次の基礎的な情報処理演習を受けて、情報発信の手段のひとつとしてWebページによる表現力を身に着ける。

#### 科目の概要

Webページを自分でデザインし、それを実現する能力を養う。HTML言語とスタイルシートを自分で書くことにより、その仕組みを理解する。JIS規格を考慮した、人にやさしく、多くの人にとって使いやすいWebページをめざす。

#### 学修目標(=到達目標)

1. ホームページの仕組みを理解する。
2. HTMLとスタイルシートを使って、Webページのデザインができる。
3. JIS規格を考慮した、人にやさしく、多くの人にとって使いやすいWebページができる。

#### 内容

1	HTMLの基本のおさらいと授業の進め方について
2	配色に関する基本的な考え方
3	Webページの配色の実習
4	段落の書き方
5	マージンとパディング
6	図と文章の回り込み
7	ナビゲーションの作成
8	1段組レイアウト
9	2段・3段組レイアウト
10	z-indexを使用した自由なレイアウト
11	表(table)の利用
12	ID・Classを使った統一的なデザイン
13	自由課題作成
14	自由課題作成
15	自由課題の相互評価, 課題に関する振り返りとまとめ

#### 評価

授業への参加度20%、毎回の授業時の提出課題60%、および最終課題への取り組み20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】ネットワークフォルダに置かれている解説を読み、難解な部分をチェックしておく。

【事後学修】提出課題と学習内容を再度見直し、疑問点を解消しておく。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず，学内ネットワーク上に解説と課題を置く

【推薦書】日本工業規格、JIS X 8341-3

【参考図書】教室で紹介する

科目名	Webデザイン応用		
担当教員名	池本 哲也		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は、メディアコミュニケーション学科専門選択科目である。コンピュータソフトを使用した、創作活動に関心がある学生向けである。

#### 科目の概要

「Webデザイン基礎」を踏まえ、より実践的なWebデザインを学習する。

Webデザインの最適なプロセスを検討していく。また、ソースコード領域に加え、UI、UX等のインフォメーションアーキテクト領域、また、Web構築・運用にまつわる、ディレクション、マネジメント領域にも触れる。アプリケーションソフトは主に、Adobe「Photoshop」「Dreamweaver」「Experience Design」を利用する。

#### 学修目標

- ・webサイトの基本構造が理解できる。
- ・自分のサイトを公開できるようになる。

#### 内容

本授業はHTMLの基本を理解していること。また、Photoshopの基本操作が行えることを前提とする。

1	オリエンテーション
2	Web概論(フロントエンド・バックエンド)
3	Web構築手順(「Photoshop」「Dreamweaver」「Experience Design」)の基本について
4	HTMLとCSS基礎
5	HTMLとCSS基礎
6	HTMLとCSS基礎
7	HTMLとCSS基礎
8	HTMLとCSS基礎
9	HTMLとCSS応用
10	HTMLとCSS応用
11	--課題制作・サイトデザイン制作--
12	--最終課題制作・サイトデザイン制作--
13	--最終課題制作・サイトデザイン制作--
14	--最終課題制作・サイトデザイン制作--
15	まとめ

#### 評価

授業への参画、課題の取り組み状況などの平常点30%、課題の評価点70%で評価をおこなう。総合評価60点以上を合

格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業前に、授業内容についてしっかりと予習をしておくこと。

【事後学修】授業内容をもとに、復讐をしておくこと。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

オリエンテーション時に指示する。

科目名	映像編集		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

映像制作のセオリーや手法を学習して作品制作を行います。

#### 科目の概要

映像制作のワークフローを体験しながら、カメラワーク・映像編集ソフト ( Adobe Premiere ) の基本操作・編集技法等の映像制作における基本技術の習得を目指します。

本講義は、チームを構築し凝縮した制作演習を行う都合上、人数制限を行う可能性があります。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

- ・ビデオカメラの操作方法の理解
- ・映像編集ソフト ( Adobe Premiere ) の基本操作の理解
- ・基本的な撮影アングルや編集技法の習得
- ・映像制作のワークフローの理解

#### 内容

毎時間、課題があり新しいことを学習していきますので、欠席しないようにしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席すると付いていけません。

データを保存するUSBメモリや外付けHDD ( USB3.0以上推奨 ) を毎時間準備してください。

1	イントロダクション
2	映像制作のワークフロー
3	ビデオカメラ基礎
4	ビデオカメラ基礎
5	Premiereでの映像編集 ( 基本操作・素材取り込み )
6	Premiereでの映像編集 ( カット編集・トランジション )
7	Premiereでの映像編集 ( タイトル・BGM )
8	Premiereでの映像編集 ( ポスプロ・書き出し )
9	作品制作 ( 企画決定 )
10	作品制作 ( 撮影 )
11	作品制作 ( 撮影 )
12	作品制作 ( 撮影・編集 )
13	作品制作 ( 編集 )
14	作品制作 ( 編集 )
15	まとめ、合評会

## 評価

授業内課題（60点）、授業参加度（40点）の合計100点満点で採点し、60点以上を合格とします。  
作品が未提出の場合は評価しません。

## 授業外学習

- 【事前準備】授業前に、チームごとに企画立案・課題制作を積極的に進めておくこと。
- 【事後学修】授業内容をもとに、チームごとに企画立案・課題制作を深めておくこと。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じて資料を配布します。



科目名	ラジオ番組制作		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

音声のみによるメディアであるラジオ。テレビの全盛期には長期的な凋落傾向にあったが先の震災をきっかけに再評価され、いままた注目されている。ネットラジオの普及により、スマートフォンやPCで無数のチャンネルにアクセスできるようになったことも大きい。この授業ではワークショップ形式でラジオ番組制作を体験することによって、あらためてラジオというメディアの特性や可能性を探っていく。

#### 科目の概要

- . 報道番組、紹介番組、解説番組、キャンペーン番組のなかからひとつを選び、番組を制作する。
- . 音楽番組を制作する。

制作した番組は試聴会を行い、相互に評価をする。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

ラジオ番組の特性を理解し、目的に沿った番組作りを考えて的確にメッセージを発信できるようになる。  
また、録音や編集を通じて音声制作ツールのスキルを高める。

## 内容

- 第1回 オリエンテーション ラジオの特性と可能性
- 第2回 番組制作 番組企画書
- 第3回 取材 録音
- 第4回 企画構成カード、放送原稿の作成
- 第5回 制作実習(1) 構成 音声編集
- 第6回 制作実習(2) BGM、SE (効果音) 作成
- 第7回 制作実習(3) BGM、SE (効果音) 作成
- 第8回 ミックスダウン エンコード 試聴会
- 第9回 番組制作 番組企画書
- 第10回 選曲 取り込み
- 第11回 企画構成カード、放送原稿の作成
- 第12回 制作実習(1) 録音
- 第13回 制作実習(2) 構成 音声編集
- 第14回 制作実習(3) BGM、SE (効果音) 作成
- 第15回 まとめ ミックスダウン エンコード 試聴会

授業の進度は作業の進捗状況などから判断して調整することがあります。

## 評価

平常点、授業参加態度など40%、提出物の評価60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

なお、規定の提出物が出ていない場合は評価できません。

#### 授業外学習

【事前予習】日常的にラジオ番組をよく聴きこんでおくこと。もしラジオを持っていなくても手持ちのスマートフォンアプリやパソコンなどで簡単に聴取できます。

【事後学修】取材や編集など、授業のペースに合わせて適宜行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず、推薦書については随時紹介する。

科目名	ことばのしくみ		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科の専門科目で、「コミュニケーション」枠の中の選択必修科目である。統語論・意味論・形態論・語用論等の言語学の諸分野については「英語学」で、音声学・音韻論の分野については「英語音声学」「ナレーションB (英語)」で扱うので、4科目すべてを履修すれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことが可能となる。英語の教職課程を履修している学生はできる限り4科目すべてを履修すること。

#### 科目の概要

対象言語としては主に英語を取り上げながら、心理言語学・社会言語学・通時言語学の諸分野に関する基本的な概念や考え方を学ぶ。

#### 学修目標 (= 到達目標)

心理言語学・社会言語学・通時言語学の諸分野に関する基本的な概念や考え方が理解できる。

#### 内容

1	言語学のめざすもの
2	言語とは何か？
3	(人間)言語の特性
4	人間言語と動物言語
5	言語の習得<心理言語学(1)>: 心理言語学のめざすもの
6	言語の習得<心理言語学(2)>: 言語習得の特徴
7	言語の習得<心理言語学(3)>: 母語の習得 (英語の自然発話資料を中心に)
8	言語の習得<心理言語学(4)>: 母語の習得 (英語の実験発話資料を中心に)
9	言語の習得<心理言語学(5)>: 母語の習得 (形態論・統語論・意味論の各モジュールの習得)
10	言語の多様性<社会言語学(1)>: 社会言語学のめざすもの
11	言語の多様性<社会言語学(2)>: 使用地域による違い
12	言語の多様性<社会言語学(3)>: 使用者の性別による違い
13	言語の多様性<社会言語学(4)>: 使用者の年齢・属する社会による違い
14	言語と脳<神経言語学>: 人間は脳のどの部分を使ってことばを発し、理解するのか
15	まとめ

#### 評価

期末試験70%, 小テスト ( 毎回授業のはじめに前回授業の復習テストを行います ) 30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に配布されたハンドアウトに目を通すこと。

【事後学修】ハンドアウトと授業用フォルダに保存されたパワーポイント資料を読み、復習をすること。また、深く学びたいと思った点については推薦書・参考文献を読むこと。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布する。

【推薦書】『ことばの科学ハンドブック』，郡司隆男・西垣内泰介編，研究社，2800円． 801/K

『言語研究入門』，大津由紀雄・池内正幸・今西典子・水光雅則編，研究社，3500円． 801/G

【参考図書】『言語学の方法』，郡司隆男・坂本勉著，岩波書店，3000円．

『言語の科学入門』，松本祐治他著，岩波書店，3400円．

『言語の獲得と喪失』，橋田浩一他著，岩波書店，3400円．

科目名	ことばと文化		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日本語の面白さを知る！

この授業は、アクティブラーニング（学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」）による参加型授業です。おすすめです。

#### 科目の概要

母国語として特に気づくこともなく使っている日本語を、何で？ どうして？ を大切に

言語研究でわかってきたさまざまな成果を元に考察していきます。

ことばや文化との関わりについて考えながら、情報の目利きとして生きることの楽しさについても考える。みなさんの様々なアイデア・思考を期待します。

大学での学び・気づきのきっかけになると嬉しいです。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

単なる知識の伝授だけでなく、考えるプロセスも訓練しましょう。

#### 内容

- 第1回 インストラクション（授業の方法と評価の仕方）
- 第2回 言語とは何？
- 第3回 日本語っていつからはじまったの？
- 第4回 言語とコミュニケーション
- 第5回 音声言語としての日本語（音声記号を書けるようにしよう！）
- 第6回 日本語音声の特徴
- 第7回 日本語方言の音声
- 第8回 音響分析と日本語
- 第9回 アクセントとイントネーション
- 第10回 方言とアクセント
- 第11回 文字の歴史
- 第12回 変体仮名を読む（古今集の恋の歌を読む）
- 第13回 表記のゆれと変化
- 第14回 日本語を考える
- 第15回 フィードバック

#### 評価

授業への参加度：振り返りメールをポイント化（60%）、適宜行う課題の評価（30%）、最終テストの評価（10%）。以下、提出物等の評価は、振り返り・・・1~7ポイント（提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポ

イント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題・・・3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度課す)とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】1週間の日本語やコミュニケーションについての疑問や発見をまとめておく。事前教材の確認。

【事後学修】\* 毎回授業後48時間以内に まとめ(何を学べたか)&感想(質問えを含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」を提出。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	異文化理解		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 = 専門選択科目

科目の概要 = 北米 (アメリカ合衆国) の歴史や社会、文化などについて日本との比較をしながら、総合的に学びます。

学修目標 = 北米 (アメリカ合衆国) についての理解を深めるとともに、日本についてもこれまでと異なった視座で考えられるようになること。

#### 内容

北米、特にアメリカ合衆国は、現在の日本にとっては最も関わりの深い国と言えます。この演習では、この国の歴史、そこに住む人々、社会、文化、習慣など様々な側面について、日本との関係にも目を向けながら理解を深めたいと思います。

第1週 授業紹介

第2週 アメリカの歴史

第3週 人種差別、公民権運動その1

第4週 人種差別、公民権運動その2

第5週 日系アメリカ人の歴史その1

第6週 日系アメリカ人の歴史その2

第7週 銃社会アメリカその1

第8週 銃社会アメリカその2

第9週 アメリカの裁判制度

第10週 アメリカの家族

第11週 アメリカの教育制度

第12週 ハワイの歴史、自然、文化

第13週 アメリカ・ポピュラー音楽の歴史その1

第14週 アメリカ・ポピュラー音楽の歴史その2

第15週 発表、まとめ

#### 評価

授業参加 ( 20点 )、期末試験 ( 80点 ) で、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】次週学ぶ内容に関して、担当教員の指示に従い、教科書の指定箇所を熟読しておくこと。

【事後学修】本時で学んだ内容に関して、担当教員の指示に従い、新聞・雑誌・Webなど教科書以外の資料を利用し理解を深めること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】池上彰著 『そうだったのかアメリカ』集英社文庫



科目名	異文化コミュニケーション		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

学科選択必修科目として、異文化コミュニケーションの特徴を学ぶ。

異なる文化的背景を持つ人と出会ったとき、私たちはうまくコミュニケーションができないと感ずることがある。それは、手段 ( 言語、非言語 ) が充分でないからなのか、それとも、考え方 ( 文化 ) が違うからなのだろうか。授業では、コミュニケーションの方法と文化のつながりについて考え、異文化間のコミュニケーションの特徴を探る。さらに、「ネット社会」の急速な発展など最近の社会の変化が、異文化コミュニケーションのあり方に及ぼしている影響についても考えてみたい。

文化の違いとは何かを理解すると同時に、自文化についても考え直すきっかけとする。

内容	
1	異文化コミュニケーション研究の歴史 ( 1 ) : 外なる異文化
2	異文化コミュニケーション研究の歴史 ( 2 ) : 内なる異文化
3	コミュニケーション : 何を伝えるか
4	コミュニケーション : どうやって伝えるか
5	異文化 : 文化とは何か
6	非言語コミュニケーション ( 1 ) ; 動作
7	非言語コミュニケーション ( 2 ) : 外見
8	言語によるコミュニケーション ( 1 ) : 言語
9	言語によるコミュニケーション ( 2 ) : 思考
10	コミュニケーション・スタイル
11	異文化理解
12	メディアと異文化
13	国際社会における異文化コミュニケーション
14	多文化世界 : 異文化の融合と共生
15	まとめ

評価

レポート ( 50% )、試験 ( 50% ) で総合評価。総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】レポートの総評は授業で発表、希望者には個々のコメントをつけて返却

授業外学習

【事前予習】身の回りで異文化と感じたことを記録しておく

【事後学修】授業での説明を参考に、それが異文化と感じた理由を確認する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】石井敏他 『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション』有斐閣 2013年

【推薦書】石井敏 他 『異文化コミュニケーション・ハンドブック』有斐閣選書 1997 年 361.54/1

【参考図書】古田暁 他 『異文化コミュニケーション・キーワード 新版』有斐閣双書 2001 年

科目名	サブカルチャー論		
担当教員名	仁藤 潤		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

マンガ・アニメ・映画・音楽などあらゆるジャンルを横断しながら表現と社会の構造について読み解いていく。

## 内容

1	サブカルチャーとは何か
2	マンガ・アニメ史 手塚治虫 赤塚不二夫 宮崎駿 他
3	現代アートとは マルセル・デュシャン、ピエナレー 他
4	テレビCM史
5	現代のサブカルチャー SNSの時代、ツイッター・Facebook 他
6	50年代のサブカルチャー サブカルチャーの萌芽
7	60年代のサブカルチャー テレビ文化 ビートルズ 他
8	70年代のサブカルチャー マンガ・アニメ・音楽の変遷史
9	80年代のサブカルチャー バブル文化論 YMO
10	90年代のサブカルチャー オタク文化と現代アート 村上隆
11	日本映画史 1
12	日本映画史 2
13	最終研究レポート作成
14	研究発表会 1
15	研究発表会 2

## 評価

出席60%、レポート40%で総合して評価する。総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

日常的に観察と収集に励むこと。文化現象を観察すること。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

### 参考

宮台真司、石原英樹、大塚明子 著 サブカルチャー神話解体 少女・音楽・マンガ・性の変容と現在 (ちくま文庫)  
その他、必要な文献については授業内で適宜、説明する予定です。

科目名	音声表現論		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

##### 科目の性格

「ラジオ番組制作」や「音声制作(ラジオ)」で学んだことを土台に、発展形としてのラジオドラマ制作に取り組む。

##### 科目の概要

- 1.朗読番組
- 2.ラジオドラマ制作

制作した番組は試聴会を行い、相互に評価をする。

##### 学修目標(=到達目標)

ラジオという音声メディアにおける表現の可能性を追求し、発信できる力を身につける。

#### 内容

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 番組制作 番組企画書
- 第3回 台本作成(1)
- 第4回 台本作成(2)
- 第5回 収録(1)
- 第6回 収録(2)、編集(1)
- 第7回 編集(2)
- 第8回 ミックスダウン エンコード 試聴会
- 第9回 番組制作 番組企画書
- 第10回 台本作成(1)
- 第11回 台本作成(2)
- 第12回 収録(1)
- 第13回 収録(2)、編集(1)
- 第14回 編集(2)
- 第15回 まとめ ミックスダウン エンコード 試聴会

授業の進度は作業の進捗状況などから判断して調整することがあります。

#### 評価

平常点、授業参加態度など40%、提出物の評価60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

なお、規定の提出物が出ていない場合は評価できません。

#### 授業外学習

【事前予習】日常的にラジオ番組をよく聴きこんでおくこと。もしラジオを持っていなくても手持ちのスマートフォンアプ

リやパソコンなどで簡単に聴取できます。

【事後学修】取材や編集など、授業のペースに合わせて適宜行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず、推薦書については随時紹介する。

科目名	ことばと社会		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日本語の面白さを知る！

この授業は、アクティブラーニング ( 学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」 ) による参加型授業です。おすすめです。

#### 科目の概要

母国語として特に気づくこともなく使っている日本語を、何で？ どうして？ を大切に

言語研究でわかってきたさまざまな成果を元に考察していきます。

ことばや文化との関わりについて考えながら、情報の目利きとして生きることの楽しさについても考える。みなさんの様々なアイデア・思考を期待します。

特に日本語の方言について深く学びます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

単なる知識の伝授だけでなく、テーマ設定したものを自ら調べ、調査、発表までのプロセスも訓練する。

#### 内容

1	ガイダンス・インストラクション ( 「ことばと社会」 での学びの構え、型を学ぶ )
2	第2回 流行語・ことばの変化
3	第3回 正しいことば・間違ったことば
4	第4回 日本の方言 ( 九州 )
5	第5回 日本の方言 ( 中国・四国・山陰 )
6	第6回 日本の方言 ( 関西 )
7	第7回 日本の方言 ( 東海・甲信越 )
8	第8回 日本の方言 ( 江戸・東京・関東 )
9	第9回 日本の方言 ( 東北・北海道 )
10	第10回 ことばのスタイル
11	第11回 ことばを調べる 1
12	第12回 ことばを調べる 2
13	第13回 ことばを調べる 3
14	第14回 ワークセッション
15	振り返り

#### 評価

授業への参加度：振り返りメールをポイント化（60%）、適宜行う課題の評価（30%）、最終テストの評価（10%）。  
以下、提出物等の評価は、振り返り・・・1~7ポイント（提出【基礎点】... 1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント） レポート・課題・・・3~8ポイント（6回以上[授業2回につき1つ程度課す）とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】各回の事前課題教材の学習。

【事後学修】振り返りとして48時間以内に学びの内容や各自の気づきをメールで提出。フォーマットはインストラクションで解説。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中に指示します。

科目名	情報とデザイン		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科専門科目である。

主に情報をデザインする手法で思考力を養い、アクティブラーニングによるグループワークでコミュニケーションと情報デザインの関わりを学修する。

#### 科目の概要

情報デザインの誕生から背景、情報化がもたらしたものの、アフォーダンス、Web、ソーシャルメディア、インフォグラフィックスなど、膨大な情報を整理し正確に伝える方法やコミュニケーションとデザインの関わりを学習する。また、ストーリーテリングを用いた情報デザインの手法により、アクティブラーニングを取り入れた「体験をデザインする」グループワークを実施する。

#### 学修目標 ( =到達目標 )

- ・情報化がもたらした歴史、新たな情報媒体としてのソーシャルメディアなどの理解
- ・インフォグラフィックスを中心とした情報を整理し正確に伝える方法の理解
- ・コミュニケーションと情報デザインの関わり方の理解
- ・ストーリーテリングを用いた情報デザインの手法の理解

#### 内容

スマートフォンを利用したアンケートや意見交換があります。

進行具合により内容を変更する場合があります。

後半はGW ( グループワーク ) が増えるため、欠席をしないように心がけてください。

1	イントロダクション
2	情報デザインとは何か？
3	情報デザインの歴史
4	情報デザインの活用
5	社会と情報デザイン
6	組織と情報デザイン
7	情報デザインプロセス
8	情報デザインプロセス
9	ユーザ調査のための
10	ユーザ調査のための
11	コンセプトのための手法
12	コンセプトのための手法
13	視覚化のための手法



14	視覚化のための手法
15	まとめ

## 評価

リアクションペーパーおよびオンラインアンケート（15%）、授業内課題（20%）、GW・プレゼンテーション（50%）、授業参加度（15%）とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】事前資料が必要な場合は準備しておく

【事後学修】課題がある場合は期限内に提出

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】必要に応じてプリントを配布

【推薦書】授業内で提示

【参考図書】授業内で提示

科目名	舞台表現A（日本）		
担当教員名	藤澤 茜		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

人々を魅了する演劇はどのように誕生し、継承されてきたのでしょうか。この問題を解明することは、日本の文化、風土、宗教観、国民性などを理解し、私たちのルーツを探ることにもなります。この授業では、能や狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃などの伝統芸能を取り上げ、現代の演劇にどう継承されているかを明らかにし、外国の演劇との比較により日本の演劇の独自性についても検証します。

特に注目するのは歌舞伎です。現代のメディアと同様に社会現象を敏感に反映し、小説や浮世絵、落語等に影響を与えた歌舞伎の検証は、大衆演劇の意義や鑑賞者が演劇に求めた要素の解明の手がかりになります。また神の祭りを起源とするため、信仰と演劇という不可分の問題も検討できると考えます。

#### 科目の概要

能や人形浄瑠璃、海外の演劇との比較を交え歌舞伎の本質を明らかにします。宝塚、ミュージカル、現代の舞台芸術、アニメーションも取り上げエンターテインメントとしての演劇のあり方を検証します。

#### 学修目標（＝到達目標）

- (1)日本の伝統芸能や演劇、世界の演劇についての基礎知識を学びます。文献調査などのレクチャーを経て、特に興味を持った演劇については各自が検証し、レポートとして提出します。
- (2)絵画資料を通じて歌舞伎の本質を探ります。浮世絵を持参する機会を設け絵画の造詣も深めます。
- (3)ビデオ観賞を通じて役者の演技、演出、舞台装置等の細かな部分に関しても理解を深めます。

内容	
1	ガイダンス・日本の伝統芸能の流れ
2	能・狂言の歴史と魅力
3	能から歌舞伎へ 「石橋」と「連獅子」
4	歌舞伎の舞台構造を知る～絵画資料による検証・現代のコクーン歌舞伎まで～
5	市川團十郎と江戸の信仰
6	歌舞伎と人形浄瑠璃 「義経千本桜」の狐忠信
7	歌舞伎と話芸 「仮名手本忠臣蔵」と落語
8	歌舞伎と広告 「外郎売」「助六由縁江戸桜」など
9	歌舞伎の海外公演 パリオペラ座公演・平成中村座ニューヨーク公演
10	歌舞伎と海外の演劇（1）京劇（中国）・パンソリ（韓国）等アジアの芸能
11	歌舞伎と海外の演劇（2）シェイクスピアと蜷川幸雄
12	海外の演劇 「ロミオとジュリエット」・ミュージカル「ウエストサイド物語」
13	現代の演劇 宝塚「ベルサイユのばら」に見る華麗な舞台
14	現代のアニメーション 「千と千尋の神隠し」「かぐや姫の物語」と日本文化
15	まとめ 伝統芸能の舞台と現代舞台芸術の比較

## 評価

毎時間の授業に関するコメント提出と、学期末にレポート提出を課します。配点の比率は、授業時のコメント30%、レポート70%とし、総合評価60点以上を合格とします。

## 授業外学習

【事前予習】次の授業で取り上げる演劇や具体的な演目について、辞書等で各自調べておくこと。特に歌舞伎の演目については、授業内で詳細にあらすじを述べる時間がとれないこともあるので、必ず事前に予習しておくこと。予習の際に有用な文献については、授業中に指示します。

【事後学修】授業内容の不明な点は、次回の授業で質問するかコメント用紙に質問を記載して下さい。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし

【推薦書】開講後に指示。授業時には毎回プリントを配布します。

【参考図書】渡辺保著『江戸演劇史（上下）』講談社、2009年

科目名	舞台表現 B (欧米)		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

アメリカ、イギリス、ヨーロッパなどと同じく、日本でもダンスによるパフォーマンスが盛んにメディアなどで取り上げられる機会が多くなり、ストレートプレイよりミュージカルに対する認知度が非常に高くなってきている。東京では劇場の数も、観劇人口も増え、外国の作品だけでなく、日本のオリジナル作品もたくさん上演されるようになってきている。本講座では、文学・音楽・舞踊・演劇・美術の総合芸術としてのミュージカルについて学ぶ。

#### 科目の概要

オペラが起源といわれ、大衆娯楽文化から芸術文化になるまでの歴史を学ぶ。

特に音楽を中心に作品を研究し、それぞれの時代の特徴を考察することをねらいとする。

ミュージカルの作品の中で、原作のあるものを取り上げ、原作と台本、同じような題材との違いを比較研究する。

#### 学修目標

ミュージカルという芸術分野に関する基本的知識・内容などを勉強し教養を深めることを目標とする。

#### 内容

17Cに始まったオペラから発展していったといわれるミュージカルを、歴史を通して年代別・作品の形態別・作曲者別の傾向を考察したり対比し、分析する。

今年度は、6月に劇団四季の「アラジン」を観劇予定。

1	17Cのオペラから発展したミュージカルのはじまりについて
2	1930・40・50年代のミュージカル初期の作品について
3	1960～1980年代の作品について
4	1990年ごろの作品について
5	1995年以降の作品について
6	2000年頃の作品について
7	最近の作品について
8	日本のミュージカルの歴史
9	さまざまなミュージカルの形態について
10	台本・音楽・舞踊などからの作品分析
11	観劇作品の背景と分析
12	小説が原作のミュージカルについて
13	映画が原作のミュージカルについて
14	アニメが原作のミュージカルについて
15	まとめ

#### 評価

課題レポート (70%)、通常の授業態度 (30%) 三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。総合評価

60点以上を合格とする。合格点に満たない場合は「再試験」を行う。

#### 授業外学習

【事前予習】授業で行う予定の作品について事前に調べる。プレゼンの準備と発表資料を作成する。

【事後学修】授業で見た作品などについての復習と、作品に関する感想文などの作成

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜に本、プリント、DVD、CDなどを紹介する。

科目名	文化と文学A（日本文学）		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

日本文学の名作として『源氏物語』を取り上げます。千年前に成立した『源氏物語』は世界文学史上の傑作でもあり、後世の文学芸術に多大な影響を与えました。この作品は、文芸文化のあらゆる学びの世界と結びつく可能性のある作品です。

『源氏物語』の全体構成を把握したうえで、物語の概要を辿り、時には原文を音読し表現を味わいながら読んでいきます。時々、漫画資料や映像などの現代メディアも利用しつつ授業を展開します。

『源氏物語』全巻読破は難しくても、この授業を通して大体的内容を捉えることは可能です。まずは作品の内容を正しく知ること、そして、登場人物たちの生き方や考え方を知り、作者紫式部の思いをとらえて受講生それぞれの人生観を見つめ直す契機にしてくれることを願います。

#### 内容

使用するテキストは、物語中のいくつかの場面をピックアップしながら全体の概要がわかる形になっており、半期の授業では、光源氏の一生について扱います。これは、物語全体の3分の2にあたります。以下、物語の筋に沿って、各時間の授業内容を書いておきます。

- 1 ガイダンス・作者について    2 作品の概要    3 物語の始まり（桐壺巻）  
4 光源氏誕生（桐壺巻）    5 雨夜の品定め・空蝉（帚木巻）    6 中流女性との恋（夕顔巻）  
7 紫の君発見（若紫巻）    8 車争い（葵巻）    9 生霊出現（葵巻）  
10 須磨退去（須磨・明石巻）    11 六条院の栄華（初音巻）    12 女三宮降嫁（若菜巻）  
13 柏木の悲恋（柏木巻）    14 紫の上の死（御法・幻巻）    15 まとめ

#### 評価

毎回の授業でリアクションペーパーを、授業の途中でレポートを課します。  
リアクションペーパーを含む平常点40点、レポート60点で、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

- 【事前予習】テキストで、物語の概要や現代語訳をあらかじめ読んでおく。  
【事後学修】授業で十分に読めなかったテキストの内容を自分で読み直し、また疑問点を調べておく。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【テキスト】ビギナーズクラシックス日本の古典『源氏物語』角川書店編  
【参考図書】『源氏物語』の参考文献はとてたくさんあるので、授業で適宜紹介します。

科目名	文化と文学B（英米文学の流れ）		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

（科目の性格、概要）(1)本科目は、教育職員免許法施行規則に定める中学校・高等学校教諭の免許取得に必要な教職に関する科目のうち、「教科に関する科目」の「英米文学」に当たり、メディアコミュニケーション学科専門科目の「コミュニケーション」区分で、選択科目です。英語の教職課程を履修している学生は、「文化と文学B(英米文学の流れ)」(前期開講)、「文化と文学C(英米小説と女性)」(後期開講)、「文化と文学D(児童文学)」(前期開講)の3科目すべて必ず履修してください。(2)英語教職課程を履修していなくても履修可。

（学修目標）英米文学の流れ、つまり英米文学史の知識を習得してもらいます。英米文学を理解するには、英米文学史の知識は必須です。

#### 内容

教科書を勉強してきてもらい、英米文学史全体を視野に入れつつ、英米文学史を学ぶうえで知っておきたい作品を読み、関連する映像作品を見るという学び方をします。狭い意味での文学だけではなく、(教職履修者でなくても)英米に関心があれば学ぶ喜びを感じられると思います。

(1回目)ガイダンス:以下の予定、扱う作品、順番などは学生の関心などにより変更することがある。

(2回目から5回目まで)アメリカ文学史

アメリカ1950年代以降の歴史を概観しながら映画『フォレスト・ガンブ』を見て、考える。併せて、アメリカ文学史に関する知識も習得してもらおう。

(6回目以降)イギリス文学史

以下の各テーマについて学び、併せてイギリス文学史の知識も習得してもらおう。

(6回目、7回目、8回目)16世紀から20世紀までのイギリス文学史を、ヴァージニア・ウルフ『オーランド』と、その映画化作品に見る。

(9回目、10回目)現代のイギリスを形成するうえで重要な役割を果たしたヴィクトリア朝や、当時の階級意識などを、『ピーター・ラビット』の作者ビアトリクス・ポターを主人公とする映画『ミス・ポター』から学ぶ。

(11回目、12回目)大英帝国の繁栄と衰退、世紀末とシャーロック・ホームズ

(13回目、14回目)第一次世界大戦後の世界とアガサ・クリスティの名探偵ポワロ

(15回目)まとめ

#### 評価

総合評価60点以上が合格。(1)毎回テーマに関して意見を発表してもらったり、提出してもらったりするので、その参加度など:50%(2)レポートと英米文学の知識などの小テスト:50%(提出は学期途中。提出後の授業でコメントなどを行う。小テストは採点して返却、解説)

#### 授業外学習

(事前学修)プリント等の課題を授業前に勉強する。(事後学修)プリント等を読み、復習し、知識を自分のものにする。

考えや疑問点をまとめてくる。＜事前、事後学修合わせて毎日20分から40分程度。これらをしていないと「評価」(2)はもちろん(1)ができません。＞

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

(教科書) 福田『イギリス・アメリカ文学史』（南雲堂）(フジショップ扱い)(一生使える良書で定価2600円はお得。)+ プリントなど。(参考書など) 授業で指示。(その他) 英文を読むので辞書は必要。



科目名	文化と文学C（英米小説と女性）		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

（科目の性格、概要）(1)本科目は、教育職員免許法施行規則に定める中学校・高等学校教諭の免許取得に必要な教職に関する科目のうち、「教科に関する科目」の「英米文学」に当たり、メディアコミュニケーション学科専門科目の「コミュニケーション」区分で、選択科目です。英語の教職課程を履修している学生は、「文化と文学B(英米文学の流れ)」(前期開講)、「文化と文学C(英米小説と女性)」(後期開講)、「文化と文学D(児童文学)」(前期開講)の3科目すべて必ず履修してください。(2)英語教職課程を履修していなくても履修可。

（学修目標）英米小説、そしてそれを取り巻く歴史や文化などに関する知識を習得してもらいます。ただし、「英米小説」というテーマはあまりに大きいので、この授業では「女性」という観点から英米小説に取り組みます。（女性作家の作品しか扱わないという意味ではないです。）

#### 内容

英米小説と女性に関する諸問題を、小説とその映像化作品(映画、ドラマなど)を通して考えます。こうした事柄に関心があれば(教職履修者でなくても)学ぶ喜びを実感できるでしょう。

(1回目)ガイダンス:以下の予定、取り上げる作品、順番等は学生の関心等により変更することもある。

(2回目、3回目、4回目、5回目)はじめに：『ジェイン・エア』と英米文学と女性

シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』から、英米文学と女性という問題への入り口を見付けてもらう。

(6回目、7回目、8回目)恋愛、結婚、女性と相続、イギリス社会における階級

ジェイン・オースティン『高慢と偏見』(『自負と偏見』の訳もある)をほぼ原作に忠実に映画化した作品『プライドと偏見』を見て、原作小説も一部読む。

(9回目、10回目、11回目)資本主義、アメリカンドリーム、自由、冷戦

トルーマン・カポーティ『ティファニーで朝食を』は、同タイトルの映画化作品も名高いが、実は原作小説と映画とはかなり違う。小説、映画双方のヒロイン像を検証する。

(12回目、13回目、14回目)社会、女性、恋愛、家族

笑いを誘うヘレン・フィールディング『ブリジット・ジョーンズの日記』に潜む女性観、家族観に内在する問題について考える。

(15回目)まとめ

#### 評価

総合評価60点以上が合格。(1)毎回テーマに関して意見を発表してもらったり、提出してもらったりするので、その参加度など:50%(2)レポートや英米小説の知識などの小テスト:50%(レポート提出は学期途中。提出後の授業でコメントなどを行う。小テストは採点して返却解説)

#### 授業外学習

（事前学修）プリント等の課題を授業前に勉強する。（事後学修）プリント等を読んで復習し、知識を自分のものにする。

考えや疑問点をまとめてくる。＜事前、事後学修合わせて毎日20分から40分程度。これらをしていないと「評価」(2)はもちろん(1)ができません。＞

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（教科書）プリントなどを配付。ポータルで教材を配布することもあります。（参考図書）授業内で適宜紹介（その他）英文を読むので、辞書は毎回持って来てください。

科目名	文化と文学D（児童文学）		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：○社会教育の場としての児童図書館の歴史や、児童サービスの意義・方法論などを学ぶ。○公共図書館と学校図書館の連携や、国際子ども図書館の役割も知る。○さらに日本と世界の児童文学の芸術性を考究し、朗読や創作ワークショップを通して<読み聞かせ>のスキル・アップを目指す。

科目の概要：遙かかなたの子ども時代に、貴女は図書館や児童館等でおとぎ話や紙芝居を読んだらう。前半は日本の児童図書館の歴史や時代背景や運営等を学び、また、児童資料の種類や特性を知る。後半は児童文学の内容を研究し、日本独自のジャンルである紙芝居の歴史や、日本と世界の代表的児童文学の物語性を追究する。あわせて<読み聞かせ>のスキルを学ぶ。

学修目標：第一に児童（乳幼児からヤングアダルトまで）サービスの成立過程と特性を学び、児童図書館や国際子ども図書館の役割を知る。第二に地域の公共図書館と学校図書館の連携を学ぶ。第三に日本の児童文学を、中世御伽草子から近代童話から紙芝居・アニメまで学ぶ。第四に世界の昔話や児童図書を学ぶ。第五に読み聞かせなどの朗読や創作の方法も習得する。

小澤俊夫氏は『昔話入門』のなかで、「人間存在の真相を示す昔話」とその本質を述べている。また、マックス・リュエティは、ヨーロッパの昔話について、「昔話はどんな材料でも簡潔にまとめ、純化してしまう様式形態をもった含世界性の冒険物語である」と語っている。児童文学の本質も学ぶ。

#### 内容

- 1 序 子どもと児童文学 美智子さま『橋をかける』
- 2 A 日本の児童図書館の歴史 / 児童サービスの意義
- 3 乳幼児・児童・ヤングアダルトのサービスの特色
- 4 B 「国際子ども図書館」の理念と活動
- 5 公共図書館と学校図書館の特色と連携活動
- 6 \*上野：国際子ども図書館の見学
- 7 C 日本のおとぎばなし：中世の御伽草子から
- 8 日本独自のジャンル：紙芝居の歴史
- 9 紙芝居の実演 「稲むらの火」「アンパンマン」
- 10 D 世界の昔話 ドイツのグリム童話
- 11 昔話の文学性と構造理論
- 12 フィンランドのムーミン<ストーリーテリングーの方法>
- 13 E <読み聞かせ>朗読レッスン：OGゲスト（声優）
- 14 日本点字図書館：プライユと本間一夫
- 15 結 これからの児童文学と図書館の可能性

## 評価

評価は平常点（20点）、レポート（80点）で行い、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】本学図書館の児童文学コーナーを見学しておくこと。日頃から多くの児童文学に触れておくこと。

【事後学修】授業で扱った児童文学の作品を、本や映像で全編を鑑賞してみる。上野の国際子ども図書館を見学する予定である。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中にプリントを、毎回配布する。図書館関連の資料は適宜紹介する。

【推薦書】小澤俊夫編著『昔話入門』（1997年、ぎょうせい）

【参考文献】ロジェ・カイヨワ著、多田・塚崎訳『遊びと人間』（1990年、講談社学術文庫）

市古貞次校注『御伽草子（上・下）』（1985・86年、岩波文庫）

科目名	身体・スポーツと文化		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ねらい

メディアコミュニケーション学科の選択科目である。

科目の性格：「身体」「スポーツ」「文化」をキーワードとして、毎回提示されるそれぞれの事象毎に、現状はもちろん、これまでの歴史や背景について学ぶとともに、これからの地域、日本、世界における様々な「身体・スポーツと文化」についての予測もまじえながら、私たちを取り巻く身近な「文化」について考えていく。

学修目標：科目領域の中で、問題意識を持ち、自ら考えながら身体やスポーツの文化について理解し、確かな力を身につけていくことをねらいとする。

## 内容

取り上げる内容としては、「健康」「ダンス」「ラジオ体操」「高校野球」「オリンピック」「ワールドカップ」「駅伝とマラソン」...など、様々なトピックを取り上げ、「女性」との関係、「メディア」との関係なども交えながら、広い視野を獲得していく。知識を得るとともに、傾聴力、発信力なども自然に身に付くよう、前向きな取り組み方を期待する。

1	オリエンテーション
2	「体育」と「スポーツ」の違い (身体+スポーツ)
3	「養生」から「健康」へ (身体+文化) 1
4	「養生」から「健康」へ (身体+文化) 2
5	「身体」と「文化」 (身体+文化)
6	「ダンス」と「身体文化」 (身体+文化)
7	「体操」と「身体文化」 (身体+文化)
8	「身体」と「メディア」の関係 (身体+文化)
9	「女性」と「スポーツ」と「文化」 (スポーツ+文化) 1
10	「女性」と「スポーツ」と「文化」 (スポーツ+文化) 2
11	「イベントスポーツ」と「文化」 (スポーツ+文化) 1
12	「イベントスポーツ」と「文化」 (スポーツ+文化) 2
13	「スポーツ」と「メディア」の関係 (スポーツ+文化)
14	「身体」「スポーツ」「文化」のつながり
15	まとめ

## 評価

1対多の講義形式だけでなく、数回のグループワークを通じて、問題を発見し、明確に提示しながら、理解していく形式をとるため、特に遅刻や欠席については、明確に対応する。従って、平常点および授業参加の姿勢 (40%)、毎回のリアクションペーパー (25%) や提出物状況 (15%) プレゼンテーション (20%) 等を総合的に判断し、6割以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める。

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	人間関係の心理学		
担当教員名	山下 倫実		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

対人魅力領域の話を軸として、その観点から人間関係について考える。よって社会心理学概論の知識が基礎となり、またコミュニケーションの心理学、対人社会心理学とも密接な関連を持つ。

われわれは人を好きになったり嫌いになったりする。人に対して好意を感じることは人間関係を成立させるきっかけとなり、さらにその関係を親密な関係へと進めていく力を持つ。この、人を好きとか嫌いとか感じることを社会心理学では「対人魅力」と呼び、それにまつわる多くの研究がこれまで行われてきている。この対人魅力は対人関係進展のために欠かせない要素である。本講義では、対人魅力を中心とした人間関係に関わる社会心理学的な実証研究について、その方法、実験結果などを詳しく解説し、その知見に基づき人間関係の形成、進展について解説をする。

対人関係領域の知識を身につけると共に、多彩な研究例から研究の考え方ややり方などの方法論についても理解を深め、受講生自身の問題意識の明確化に活かして欲しい。また受講を通して、日常生活においてよりよい人間関係をつくるためにどのようなことが重要であるかを考えるきっかけにもなるとよい。

内容	
1	ガイダンス：対人魅力とは何か
2	好意をどのようにして測定する？
3	側にいる人を好きになる？好きな人の側にいたい！
4	美しい人を好きになる！美しい人に幻滅する！
5	美しく装って魅力を高める - 被服・化粧と対人魅力 -
6	人の心をひきつける性格
7	自分と似た態度を持つ人を好きになる！
8	能力が高い人は本当に好かれる？
9	中間テスト
10	魅力を高める自己開示・自己呈示
11	傷ついた時に側にいてくれる人を好きになる？
12	相手から好かれることの効果
13	環境条件と魅力の関連
14	対人関係の親密化～魅力が力を発揮する時
15	対人関係の進展と崩壊

評価

期末テスト70点+中間テスト30点により評価を行い、60点以上を合格とする。出席については、2/3以上の出席が必要。満たさない場合には、単位は取得できない。

## 授業外学習

【事前予習】次の授業のキーワードについて自分で調べて予習してくる

【事後学修】学習内容についてノートを整理し復習する

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】指定しない。必要に応じて資料を配付する。



科目名	グループダイナミクス		
担当教員名	風間 文明		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディアコミュニケーション学科の選択専門科目である。社会心理学の中の集団に関する研究領域を取り上げる。よって社会心理学概論の知識を基礎とする。また他の社会心理学領域の科目とも関連があり、特に産業・組織心理学との関連は密接である。

グループ・ダイナミクスとは、集団およびその成員の行動に関する一般的法則を明らかにしようとする社会科学の1分野で、心理学では主に社会心理学においてその領域の研究が行われている。具体的には、集団の形成過程、集団内の地位・役割分化、集団規範への同調と逸脱、集団での意志決定、集団の生産性、リーダーシップなどの諸問題を研究対象とする。この授業では、グループ・ダイナミクスに関する様々な領域の研究知見について日常的な集団経験と照らし合わせながら、わかりやすく解説する。

集団研究の方法、知識を身につけると共に、集団における人間の心理について理解を深め、教育組織、企業組織など実際の集団や組織にいかに応用できるかという実践的な観点も持てるようになることを目標とする。

#### 内容

グループ・ダイナミクスの主要な研究領域について講義形式で解説する。また講義内容と関連のある模擬的実験や心理尺度なども実施する予定である。以下の内容を予定。

- (1) 集団とは何か
- (2) 集団の形成過程
- (3) 集団の構造
- (4) 集団規範
- (5) リーダーシップ
- (6) 集団意思決定
- (7) 集団と個人
- (8) まとめ

#### 評価

期末テスト80%+授業内の課題20%とし、総合評価60点以上を合格とする  
成績をもってフィードバックとする

#### 授業外学習

- 【事前予習】次に取り上げる内容について書籍、検索などを使って自分で調べてくる
- 【事後学修】学習内容についてノートを整理し、復習する

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】指定しない。必要に応じて資料を配付する。

科目名	創作表現		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科専門科目である。

映像メディアに関する技術・表現手法を学習し、映像コンテンツの捉え方を学修する。

#### 科目の概要

実際に作品を鑑賞し視点を変えることで、映像メディアの原理や映像技術の発達について学び、映画の文法や手法、映像表現の特徴や可能性を探求していき、今後の自主活動や映像作品制作活動に活かす。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

日本ならびに諸外国における様々な映像作品 ( 映画・ドキュメンタリー・ミュージックビデオ・ビデオアート・CG・アニメーション・テレビニュース映像など ) の鑑賞を通じて映像リテラシーを高め理解力を養う。

#### 内容

進行具合により内容を変更する場合があります。

1	イントロダクション：映像とは何か？、技術的な側面から
2	映画の誕生：リュミエールの映画と列車、メリエスの映画とアトラクション
3	映画技法 ( 1 ) フォトグラフィ：リアリズムとフォーマリズム、ドキュメンタリー
4	映画技法 ( 2 ) ミザンセヌ：ショット、アングル、フレーム
5	映画技法 ( 3 ) ミザンセヌ：構図とデザイン、支配的映像
6	映画技法 ( 4 ) ミザンセヌ：撮影の基本位置、空間論的配置
7	映画技法 ( 5 ) 編集：コンティニューイティ、古典的編集、ソビエト・モンタージュ
8	映像表現 ( 1 ) ミュージックビデオの世界 ( 日本 )
9	映像表現 ( 2 ) ミュージックビデオの世界 ( 外国 )
10	映像表現 ( 3 ) ビデオアート・実験映像・CGの世界
11	映像表現 ( 4 ) 映画とタイトルバック
12	映像表現 ( 5 ) アニメとアートアニメーション
13	映像表現 ( 6 ) 宗教映画と宗教美学
14	映像表現 ( 7 ) 動画投稿サイトとMAD動画
15	まとめ

#### 評価

期末レポートまたは試験 ( 55% )、リアクションペーパー ( 30% )、受講参加度 ( 15% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】次回の関連事項を確認し、学習すべき内容を確認しておくこと。

【事後学修】資料を良く読み復習することで、学習した内容をしっかり身につける。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】必要に応じてプリントを配布

【推薦書】授業内で提示

【参考図書】授業内で提示

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽（音声）コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではDTMソフトの定番、Cubase（キューベース）ファミリーの入門版であるCubase Elements 6を導入し、最新のDAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）の世界を体験的に学習します。

科目の概要...1.DTM（デスクトップ・ミュージック）＝コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。2.このコンピュータミュージック ではMIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作という手順でDTMの基礎を身につける。

学修目標（＝到達目標）...1.MIDI制作 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作の実習2.MIDI入力したデータをオーディオに変換。オーディオミックスダウンの実習  
3.オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。  
4.MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品制作

#### 内容

- 第1回 ガイダンス スタートアップ
- 第2回 新規プロジェクトの作成 プロジェクトおよびファイルの管理
- 第3回 コピーとペースト 削除と「元に戻す」
- 第4回 基本的操作の確認 テンポと拍子の設定 トランスポーズ
- 第5回 ドラムセットの入力
- 第6回 スコア課題(1)MIDI入力
- 第7回 スコア課題(2)MIDI入力
- 第8回 スコア課題(3)MIDI入力 強弱表現について
- 第9回 MIDIデータのオーディオ化 ミックスダウン
- 第10回 オーディオループ素材を活用したトラック制作
- 第11回 創作課題(1)MIDI入力
- 第12回 創作課題(2)MIDI入力 リズムトラック制作
- 第13回 創作課題(3)メロディパートの創作
- 第14回 ミックスダウン オーディオCD作成 試聴
- 第15回 まとめ

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

#### 評価

提出作品の評価40% 授業への参加度60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業用サイトの該当箇所を読み、用語などについて下調べをする。

【事後学修】課題のMIDI入力など、授業外の時間を活用して仕上げる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業用に設けられたサイトを活用する。

【推薦書】Cubase6 Series 徹底操作ガイド (THE BEST REFERENCE BOOKS EXTREME) 藤本健 著 リットーミュージック

【参考図書】随時紹介

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽（音声）コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではDTMソフトの定番、Cubase（キューベース）ファミリーの入門版であるCubase Elements 6を導入し、最新のDAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）の世界を体験的に学習します。

科目の概要...1.DTM（デスクトップ・ミュージック）＝コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。2.このコンピュータミュージック ではMIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作という手順でDTMの基礎を身につける。

学修目標（＝到達目標）...1.MIDI制作 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作の実習2.MIDI入力したデータをオーディオに変換。オーディオミックスダウンの実習  
3.オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。  
4.MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品制作

#### 内容

- 第1回 ガイダンス スタートアップ
- 第2回 新規プロジェクトの作成 プロジェクトおよびファイルの管理
- 第3回 コピーとペースト 削除と「元に戻す」
- 第4回 基本的操作の確認 テンポと拍子の設定 トランスポーズ
- 第5回 ドラムセットの入力
- 第6回 スコア課題(1)MIDI入力
- 第7回 スコア課題(2)MIDI入力
- 第8回 スコア課題(3)MIDI入力 強弱表現について
- 第9回 MIDIデータのオーディオ化 ミックスダウン
- 第10回 オーディオループ素材を活用したトラック制作
- 第11回 創作課題(1)MIDI入力
- 第12回 創作課題(2)MIDI入力 リズムトラック制作
- 第13回 創作課題(3)メロディパートの創作
- 第14回 ミックスダウン オーディオCD作成 試聴
- 第15回 まとめ

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

#### 評価

提出作品の評価40% 授業への参加度60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業用サイトの該当箇所を読み、用語などについて下調べをする。

【事後学修】課題のMIDI入力など、授業外の時間を活用して仕上げる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業用に設けられたサイトを活用する。

【推薦書】Cubase6 Series 徹底操作ガイド (THE BEST REFERENCE BOOKS EXTREME) 藤本健 著 リットーミュージック

【参考図書】随時紹介



科目名	アニメーション制作		
担当教員名	仁藤 潤		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、短編アニメーション制作に関心のある学生向けの内容である。

#### 科目の概要

「プロット 絵コンテ 動画制作 ポスプロ(編集、サウンドデザイン) 上映」という映像制作のプロセスを学んでいく。

#### 学修目標(=到達目標)

- ・短編アニメーション制作を1人で行えるようになる。

#### 内容

1	ガイダンス
2	短編アニメーションの世界 1
3	短編アニメーションの世界 2
4	最終課題 企画 グループ分け
5	最終課題 企画書作成
6	最終課題 企画書発表
7	最終課題 コンテ作成
8	最終課題 コンテ完成
9	最終課題 制作 1
10	最終課題 制作 2
11	最終課題 中間発表会
12	最終課題 制作 3
13	最終課題 制作 4
14	最終課題 仕上げ
15	最終課題 発表会

#### 評価

課題点：80% 授業に対する意欲・関心・態度：20%

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】デジタル一眼レフカメラの操作に慣れておくことが望ましい。

Adobe Premiere Pro等の映像編集ソフトの操作に慣れておくことが望ましい。

サウンド編集ソフトの操作に慣れておくことが望ましい。

【事後学修】課題（プロット・コンテ作成）、作品制作をコツコツと計画的に進める。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない

【推薦書】授業時に指示する。

【参考図書】アニメーションの本 動く絵を描く基礎知識と作画の実際

科目名	ナレーションA（日本語）		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

「朗読」は声で作品の内容を聞き手に伝える表現行為である。ナレーションや朗読の実践講座の中で、日本の文学や文芸を鑑賞する力を養う。

#### 科目の概要

文章は声に出して読むことによって、その内容をより深く理解できる。さらに、作者の呼吸や作品の奥深さに気づくこともある。日本語の音声表現の基礎を学びながら、様々な作品を丁寧に読む。授業は演習形式で行われ、下読みなどの予習も必要となる。人数制限があるので意欲のある学生の参加を希望する。抽選になる可能性もある。

#### 学修目標

作品を深く理解し、声で伝える能力を身につける。さらに、日本語への関心を高め、ことばに対する感性を磨く。

#### 内容

1	「朗読」の基礎と魅力
2	伝わる読みのポイント
3	画面にあわせたナレーション
4	画面にあわせたナレーション
5	小説を朗読する
6	小説を朗読する
7	絵本の読み聞かせ
8	昔話の魅力
9	詩の朗読
10	古典作品を読む
11	古典作品を読む
12	短歌や俳句を読み鑑賞する
13	音声表現の専門家に学ぶ
14	朗読発表
15	まとめ

#### 評価

日頃の授業への参加意欲・下調べや下読みが十分か（50%）発表の成績（50%）を総合して評価し、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】その日の教材を熟読し、声に出して下読みする。

【事後学修】学んだことを発展させ、課題に取りくむ。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使わない。プリントを配布する。

【参考図書】授業中に紹介する。

科目名	ナレーションB（英語）		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

他学科に開放されている、メディアコミュニケーション学科の専門科目コミュニケーションの選択科目。英語の教職課程の必須科目の1つ。話しことばに関心のある人や英語の発音をよくしたい方にも履修をお勧めします。なお、ランゲージスキル選択科目の「英語音声学」では、この科目よりも時間の短い個々の音（子音・母音・半母音）を詳しくみます。

英語の自然なリズム・イントネーションは、子供か勘のいい人しか身につかないのでしょうか？ この科目では、英語音声学の教科書の子音と母音の章を復習（英語音声学を未習の人は外観）し、さまざまな音声を朗読練習していきます。紹介する音声を何度も朗読して、英語音声に親しみましょう。

英語らしい流暢な発音の修得を狙います。

#### 内容

この授業の教科書は、前期科目の英語音声学と共通です。第4・5章（子音と母音）を初めの3週でおさらい（英語音声学を取らなかった人は概観）します。

第4--7週： 第2章（綴り字と発音）... フォニックス初級、中級、上級、応用

第8週： 録音課題

第9週： 第6章（音の連続）... 子音連続を中心に

第10週： 第6章（音の連続）... 音節を中心に

第11週： 第7章（アクセント）

第12週： 第8章（リズム）

第13週： 第9章（イントネーション）... 基礎

第14週： 第9章（イントネーション）... 応用

第15週： まとめ

#### 評価

以下の割合で点数化し、総合評価60点以上を合格とします。

(1) まとめの成果： 60%

(2) 平常点： 40% （小テスト（適宜）、予習、実技録音課題提出）

#### 授業外学習

【事前学習】初回から第3週までは、教科書の子音・母音の章を利用して、教科書付属CD音声の発音練習を行ってください。第4週以降は、教科書の例文や、教室で指示する英文の朗読練習をしてください。平均毎週1時間。

【事後学修】授業で指示した素材の復習発音練習に、毎週30分はかけて下さい。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】竹林滋/清水あつ子/斎藤弘子 著 『改訂新版 初級英語音声学』大修館書店.

科目名	手話		
担当教員名	谷 千春		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

聴覚に障がいを持つ人たちのコミュニケーション手段を学びます。

聴覚障がいについて医学、社会、教育、福祉、文化など多角的に学びます。

#### 科目の概要

手話を中心に、それ以外のコミュニケーション手段について学びます。

具体的には筆談、読唇、補聴器、空書、触手話、指文字などの基礎を理解します。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

NP0手話技能検定協会が定める手話検定5級レベルの単語や例文修得を目指します。

あいさつや自己紹介、簡単な日常会話が手話でできるようになることを目指します。

内容	
1	あいさつの表現
2	家族に関する表現
3	日時に関する表現
4	指文字 (ア～サ行)
5	名前に関する表現
6	指文字 (タ～ハ行)
7	趣味に関する表現
8	指文字 (マ～ワ行)
9	地名に関する表現
10	自己紹介
11	表現力・実技試験
12	動物に関する表現
13	食べ物に関する表現
14	スポーツに関する表現
15	まとめ

#### 評価

手話による実技試験 (50%)、学修目標に基づく筆記試験 (40%)、通常の授業態度 (10%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】予めテレビの手話ニュースや福祉番組などを見て手話の動きに慣れておくこと

【事後学修】授業で習った手話や指文字を滑らかに表現、読み取れるように復習しておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】実用手話ハンドブック/谷千春監修/新星出版/378.28/j

【参考図書】ゼロからわかる手話入門/谷千春監修/主婦の友社



科目名	英語学		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科の専門科目で、「ランゲージスキル」枠の選択科目である。言語学の関連分野については「ことばのしくみ」で、音声学・音韻論の分野については「英語音声学」「ナレーションB (英語)」で扱うので、4科目すべてを履修すれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことが可能となる。英語の教職課程を履修している学生は4科目すべてを履修すること。

#### 科目の概要

英語を科学的に分析・研究する対象として扱い、英語学の中核をなす形態論 (英語の単語の構造)、統語論 (英語の文の構造)、意味論 (意味の構造) を中心に、さらに語用論などの分野も含めて、英語学の基本的な概念を学ぶ。適宜、大多数の学生の母語である日本語と比較することにより英語という言語の持つ特徴を浮き彫りにできるようにしたい。

#### 学修目標 (= 到達目標)

(i) 形態論、統語論、意味論、語用論の基本的な概念をまなぶ、(ii) 言語を学習の対象ではなく科学的な分析の対象として捉えることができる

#### 内容

以下の各トピックに関して基本的な概念・考え方等の説明を講義形式で行う。理解を深めるための演習や課題の提出、毎授業の最初に前回の授業の復習小テストを行う。

1	言語を科学的な分析の対象として捉える方法
2	形態論(1): 形態論のめざすもの
3	形態論(2): 語の内部構造、形態素
4	形態論(3): 形態素分析
5	形態論(4): 語形成規則 (偶発的な語形成規則)
6	形態論(5): 語形成規則 (少し規則的な語形成規則)
7	形態論(6): 語形成規則 (規則的な語形成規則)
8	統語論(1): 統語論のめざすもの
9	統語論(2): 句・文の内部構造
10	統語論(3): 句構造規則
11	統語論(4): 変形規則
12	意味論(1): 意味論のめざすもの
13	意味論(2): 語や文の意味の記述
14	語用論: 言語はどのように使用されるのか
15	まとめ

## 評価

期末試験70%，小テスト（毎回授業のはじめに前回授業の復習テストを行います）30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に配布されたハンドアウトに目を通すこと。

【事後学修】ハンドアウトと授業用フォルダに保存されたパワーポイント資料を読み、復習をすること。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布する。

【推薦書】『ことばの科学ハンドブック』，郡司隆男・西垣内泰介編，研究社，2800円． 801/K

『言語研究入門』，大津由紀雄・池内正幸・今西典子・水光雅則編，研究社，3500円． 801/G

『文法』，益岡隆志他著，岩波書店，3400円． 801.08/1/5

【参考図書】『言語学の方法』，郡司隆男・坂本勉著，岩波書店，3000円．

『言語の科学入門』，松本祐治他著，岩波書店，3400円．

科目名	英語音声学		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディアコミュニケーション学科の専門科目のランゲージスキル選択科目。なお、コミュニケーション選択科目の「ナレーションB(英語)」では、この科目よりも時間の長い発音 (音連続・リズム・イントネーション) に注目して応用練習をします。英語の教職課程の必修科目の1つです。話しことばに関心のある人や英語の発音をよくしたい方にも履修をお勧めします。

母語の個々の音 (母音・子音・半母音) の発音は無意識に習得している知識ですが、発音に障がいのある人の支援をする時や、外国語の学習・教育において、また、朗読など声を専門的に使う活動においては、音声学の知識が役立ちます。なじみ深い外国語である英語の発音を日本語と比較することにより個々の音の特徴を理解します。

英語と日本語の個々の音の発音をしているときの口の中の各部分の動きを考えて、図などで違いを説明できるようにし、発音記号も読み書きできるようにします。さらに、自らの英語の発音を改善し、英語の聞き取り力も向上させます。

#### 内容

第4, 5章の子音 (しいん) と母音 (ぼいん) をていねいに練習していきます。

1	1. 現代英語の標準発音 -- 2. つづり字と発音
2	3. 音素
3	4. 子音 閉鎖音
4	4. 子音 摩擦音
5	4. 子音 破擦音
6	4. 子音 鼻音
7	4. 子音 側面音
8	4. 子音 半母音
9	5. 母音 短母音
10	5. 母音 長母音
11	5. 母音 二重母音
12	5. 母音 弱母音と半弱母音
13	6. 音の連続
14	7, 8, 9 .アクセント・リズム・イントネーション
15	【まとめ】

#### 評価

以下の割合で点数化し、総合評価60点以上を合格とします。

- (1) まとめの成果： 60%
- (2) 平常点： 40% (小テスト(適宜)、予習、実技録音課題提出)

## 授業外学習

【事前学習】毎週1時間程度の予習として、教科書付属CD音声の発音をまねてみてください。

【事後学修】授業で扱った部分の音声が無理なく発音できるようになるまで何度も発音練習して、映画やネット上の英語音声に親しんでください。人によりますが毎週30分は必要と思います。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 竹林滋/清水あつ子/斎藤弘子 著『改訂新版 初級英語音声学』大修館書店.

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective course.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

#### 学修目標 (= 到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

#### 内容

1	Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom.
2	Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song.
3	Unit 1. Classroom phrases and questions.
4	Unit 2. Learning timetables and time.
5	Unit 2. Learning to express likes and dislikes.
6	Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song.
7	Unit 3. Learning about family trees and relations.
8	Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story.
9	Unit 3. Asking and telling about each other's family.
10	Unit 4. Describing places using their is / are
11	Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song.
12	Unit 4. Explaining locations using maps.
13	Unit 5. Describing personalities.
14	Unit 5. Discussing activities together.
15	まとめ Evaluation activities.

#### 評価

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%。

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 Outside lesson listening recommended.

【事後学修】 Review using the vocabulary lists provided in the text book.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective course.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

#### 学修目標 (= 到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

内容	
1	Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom.
2	Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song.
3	Unit 1. Classroom phrases and questions.
4	Unit 2. Learning timetables and time.
5	Unit 2. Learning to express likes and dislikes.
6	Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song.
7	Unit 3. Learning about family trees and relations.
8	Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story.
9	Unit 3. Asking and telling about each other's family.
10	Unit 4. Describing places using their is / are
11	Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song.
12	Unit 4. Explaining locations using maps.
13	Unit 5. Describing personalities.
14	Unit 5. Discussing activities together.
15	まとめ Evaluation activities.

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%。

#### 授業外学習

【事前予習】Outside lesson listening recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary lists provided in the text book.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.



科目名	日常英会話入門		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective course.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

#### 学修目標 (= 到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

#### 内容

1	Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom.
2	Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song.
3	Unit 1. Classroom phrases and questions.
4	Unit 2. Learning timetables and time.
5	Unit 2. Learning to express likes and dislikes.
6	Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song.
7	Unit 3. Learning about family trees and relations.
8	Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story.
9	Unit 3. Asking and telling about each other's family.
10	Unit 4. Describing places using their is / are
11	Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song.
12	Unit 4. Explaining locations using maps.
13	Unit 5. Describing personalities.
14	Unit 5. Discussing activities together.
15	まとめ Evaluation activities.

#### 評価

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%。

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 Outside lesson listening recommended.

【事後学修】 Review using the vocabulary lists provided in the text book.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

## 内容

Week 1 Spring Vacation

Week 2 Unit 1 Food

Week 3 Review

Week 4 Unit 2 Festivals

Week 5 Review

Week 6 Unit 3 Cities

Week 7 Review

Week 8 Unit 4 Jobs

Week 9 Review

Week 10 Unit 5 Music

Week 11 Review

Week 12 A Japanese living Abroad I

Week 13 A Japanese living Abroad II

Week 14 Presentations

Week 15 Evaluation

## 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

## 授業外学習

【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet

【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

Inspire 2 by Pamela Hartmann

Cengage Learning

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

## 内容

Week 1 Spring Vacation

Week 2 Unit 1 Food

Week 3 Review

Week 4 Unit 2 Festivals

Week 5 Review

Week 6 Unit 3 Cities

Week 7 Review

Week 8 Unit 4 Jobs

Week 9 Review

Week 10 Unit 5 Music

Week 11 Review

Week 12 A Japanese living Abroad I

Week 13 A Japanese living Abroad II

Week 14 Presentations

Week 15 Evaluation

## 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

## 授業外学習

【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet

【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

Inspire 2 by Pamela Hartmann

Cengage Learning

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 The purpose of this class is to enable students to initiate and sustain a casual conversation on a variety of topics.

科目の概要 Classroom activities will vary according to level of English and creativity,

学修目標 (=到達目標) Students are expected to participate and prepare their work so the lesson can run smoothly.

内容	
1	Introduction. Class explanation
2	Restaurant unit
3	Talking about food.
4	Making your own restaurant.
5	Group work - Presentation.
6	What's the matter? (Health topic)
7	Vocabulary exercises and group work.
8	Presentation of above.
9	How much do you know?
10	Asking/Answering question in passive form.
11	Asking/Answering question in passive form.
12	What would you say if...?
13	Asking/Answering questions / Would...if
14	Tell me about Japan.
15	まとめ Student presentation of above.

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20% Pair/ group conversations 60% , vocabulary tests 20%

授業外学習

【事前予習】 Read dialogues. Check new words.

【事後学修】 Make sentences for homework.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Prints Supplied

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 This course aims at reinforcing grammatical skills and building vocabulary.

科目の概要 By reading sample dialogues and writing original ones, students can gain confidence in their ability to communicate in English.

学修目標 ( =到達目標 ) Practice, review of grammar and role-playing will help improve their English level.

#### 内容

Introduction. Class Explanation.

Getting to know each other.

Sample dialogues.

Grammar review.

Original dialogues.

Practice role-playing.

Practice.

Presentation.

Choosing a Career. Discussion.

Asking/answering questions.

Job descriptions.

Interview sample.

Original interview. Practice.

Role-playing.

Presentation.

#### 評価

総合評価 60点以上を合格とする。Attendance/participation 20%, role-playing/presentation 60%, vocabulary tests 20%

#### 授業外学習

【事前予習】 Read dialogues. Check new words.

【事後学修】 Make sentences for homework.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Prints Supplied



科目名	日常英会話		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics such as vacations, favorite things, fashion, memories and stories, work and holidays. They practice listening with natural materials such as songs and stories.

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

Students will utilize the English that they already know and will gain in confidence by speaking about familiar and useful topics.

#### 内容

1	Unit 6. Discussing the summer vacation. Asking and answering questions.
2	Unit 6. Using the past tense to tell stories about the summer. Listening with a song.
3	Unit 7. Practicing listening comprehension with stories.
4	Unit 7. Story making workshop.
5	Unit 7. Reading stories to learn story telling techniques.
6	Unit 8. Comparing favorite things.
7	Unit 8. Using Wh questions. Comparing and contrasting.
8	Unit 9. Talking about clothes and trends.
9	Unit 9. Discussing trends. listening with a song.
10	Unit 10. Discussing schools and childhood. Using the past tense to tell stories.
11	Unit 11. Discussing different types of work and skills.
12	Unit 11. Listening to and making a resume.
13	Unit 12. Holidays: Christmas vocabulary, stories and listening activities.
14	Unit 12. Holidays: New Year vocabulary, game and listening activities.
15	まとめ Evaluation activities.

#### 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Small unit tests 30%, listening activities 30%, final test 40%.

#### 授業外学習

【事前予習】Listening outside the classroom recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary list provided in the textbook.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendsen and Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics such as vacations, favorite things, fashion, memories and stories, work and holidays. They practice listening with natural materials such as songs and stories.

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

Students will utilize the English that they already know and will gain in confidence by speaking about familiar and useful topics.

#### 内容

1	Unit 6. Discussing the summer vacation. Asking and answering questions.
2	Unit 6. Using the past tense to tell stories about the summer. Listening with a song.
3	Unit 7. Practicing listening comprehension with stories.
4	Unit 7. Story making workshop.
5	Unit 7. Reading stories to learn story telling techniques.
6	Unit 8. Comparing favorite things.
7	Unit 8. Using Wh questions. Comparing and contrasting.
8	Unit 9. Talking about clothes and trends.
9	Unit 9. Discussing trends. listening with a song.
10	Unit 10. Discussing schools and childhood. Using the past tense to tell stories.
11	Unit 11. Discussing different types of work and skills.
12	Unit 11. Listening to and making a resume.
13	Unit 12. Holidays: Christmas vocabulary, stories and listening activities.
14	Unit 12. Holidays: New Year vocabulary, game and listening activities.
15	まとめ Evaluation activities.

#### 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Small unit tests 30%, listening activities 30%, final test 40%.

#### 授業外学習

【事前予習】Listening outside the classroom recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary list provided in the textbook.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendsen and Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

## 内容

Week 1 Summer Vacation  
 Week 2 Unit 7 Family  
 Week 3 Review  
 Week 4 Unit 8 Nature  
 Week 5 Review  
 Week 6 Unit 9 Happiness  
 Week 7 Review  
 Week 8 Unit10 Conservation  
 Week 9 Review  
 Week 10 Volunteer Abroad  
 Week 11 Music from Around the World  
 Week 12 An African child I  
 Week 13 An Africn child II  
 Week 14 Presentations  
 Week 15 Evaluation

## 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

## 授業外学習

- 【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet
- 【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

## 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

Inspire 2 by Pamela Hartmann  
 Cengage Learning

科目名	日常英会話		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

## 内容

Week 1 Summer Vacation  
 Week 2 Unit 7 Family  
 Week 3 Review  
 Week 4 Unit 8 Nature  
 Week 5 Review  
 Week 6 Unit 9 Happiness  
 Week 7 Review  
 Week 8 Unit10 Conservation  
 Week 9 Review  
 Week 10 Volunteer Abroad  
 Week 11 Music from Around the World  
 Week 12 An African child I  
 Week 13 An Africn child II  
 Week 14 Presentations  
 Week 15 Evaluation

## 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

## 授業外学習

- 【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet
- 【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

Inspire 2 by Pamela Hartmann  
 Cengage Learning

科目名	日常英会話		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 This course aims at reinforcing grammatical skills and building vocabulary.

科目の概要 By reading sample dialogues and writing original ones, students can gain confidence in their ability to communicate in English.

学修目標 (=到達目標) Practice, review of grammar and role-playing will help improve their English level.

#### 内容

Introduction. Class Explanation.

Getting to know each other.

Sample dialogues.

Grammar review.

Original dialogues.

Practice role-playing.

Practice.

Presentation.

Choosing a Career. Discussion.

Asking/answering questions.

Job descriptions.

Interview sample.

Original interview. Practice.

Role-playing.

Presentation.

#### 評価

総合評価 60点以上を合格とする

Attendance/participation 20%, role-playing/presentation 60%, vocabulary tests 20%

#### 授業外学習

【事前予習】 Read specified pages, check vocabulary,

【事後学修】 do homework sheets.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Prints will be provided.



科目名	メディア英語		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

(科目の性格) 現在、情報の多くが英語でやりとりされています。この授業では、インターネットとその社会的影響に焦点を当て、グローバル化した現代社会を読み解くための基本的な知識を英語で学びます。

(科目の概要) テキストを読みます。テキストは、インターネットやSNSなどのメディアが私たちの生活に与えた影響についてのエッセイを使用します。(詳しくは下の「内容」をご覧ください。) グローバル化した現代世界の様々な出来事や問題に対する知識、関心を深めながら読み進めていきます。

授業では、毎週1つのトピックについて読み、内容についてのリスニングを行います。また、その問題について受講者各自が調査した内容を発表してもらう予定です。

(学修目標) 辞書を片手に、やさしい英文が読めるようになること、および簡単なリスニングに慣れることが目標です。

選択科目ですので、以上のような内容に興味があり、自発的に情報を収集し、考える態度が望まれます。

#### 内容

次のようなトピックが取り上げられます。どのチャプターをどの週に行うかは、受講者と相談して決めたいと思います。

1	ガイダンス
2	chapter 1: A Social Network
3	chapter 2: The End of TV
4	chapter 3: A Sport for smartphones
5	chapter 4: Radio for Everyone
6	chapter 5: Smaller or Bigger?
7	chapter 6: Light Brings Hope
8	chapter 7: No more Lost Bags
9	chapter 8: Artificial Brains
10	chapter 9: A Better Way to Tell the Time
11	chapter 10: What to Do with All That Data?
12	chapter 11: The Man Who Invented the World Wide Web
13	chapter 12: The Biggest Store in the World
14	chapter 13: Powering the Home of the Future
15	まとめ

#### 評価

参加態度40%、発表等30%、テスト30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】テキストを読み、わからない点をはっきりさせて授業に臨んでください。1時間程度の予習が必要と考えられます。また、発表担当者はプレゼンの準備をしてください。

【事後学修】テキストを読みなおし、学習したトピックについてのニュースなどに注意する。時間は各受講生の理解度によります。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『インターネットが生み出す未来社会 It's a Wired World』

Daniel O'Keefe、芝垣哲夫著、成美堂、1900円

（授業内で使用する。）

科目名	メディア英語		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、メディアで使われている英語を基礎から学習するクラスです。

#### 科目の概要

英字新聞などで実際に使われている実戦的な英語の読解力を養成します。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

幅広い分野のニュース ( 例えば文化、社会、科学技術など ) を題材にして、比較的短い時事的内容の文章が読めるようになることを目指します。

特に、(1) 英文記事に慣れること、(2) 英文を正確に読み取る力を身につけること、(3) 語彙や表現力を豊かにすることを、主な目標とします。

#### 内容

基本的な文法事項や語彙・表現を確認しながら、テキストの音読・和訳または要約を行うと共に、内容把握等の練習問題に取り組みます。1回の授業で、教科書1課分ずつ進む予定です。

語彙力を高めるため、3～4週ごとに、授業で使用するテキストから単語の小テストを行います。

1	英字新聞の読み方
2	Leaks show how wealthy hide riches
3	Comedian Matayoshi's literary win offers hope for sagging publishing industry
4	Out of Africa I
5	`Drop dead, Japan!' mom fights on
6	iPS eyes parts are created
7	Recognizing the Artifice in Artificial Intelligence
8	Ichio leads Japan's wrestling sweep with historic fourth straight gold ほか
9	Nobels in medicine and physics
10	Brexit and `the special relationship' ほか
11	Animals spy new enemy in sky: Drones
12	Digital culture, analog fever
13	A foreign owner breeds local discontent ほか
14	まとめ ( 1 )
15	まとめ ( 2 )

#### 評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験：60%
- (2) 平常点：40%（授業への参加度、小テスト、課題提出）

#### 授業外学習

- 【事前準備】教科書の指定箇所を必ず予習して授業に臨んでください。
- 【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】高橋優身・伊藤典子・Richard Powell 『15章版：ニュースメディアの英語-演習と解説2017年度版』  
朝日出版社
- 【推薦書】授業で適宜紹介します。
- 【参考図書】授業で適宜紹介します。

科目名	ライティング		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)

英語は世界の共通言語ですが、言葉そのものだけでなくその論理展開の方法を学ぶことも重要です。特に文章を書くにあたっては、その傾向が顕著です。この科目では、読み手にわかりやすい英語の理論展開の仕方と文章を書く方法を学びます。

(科目の概要)

文章の種類に応じたライティング・パターンを学び、そのパターンに沿って文章を展開する練習を行います。取り上げるライティング・パターンは「意見とその理由を述べる文章」「原因分析の文章」「賛成・反対の意見とその理由を述べる文章」「物事を分類、比較する文章」「順序、時系列で各文書」などを予定しています。

(学修目標)

パラグラフ・ライティング、エッセイ・ライティングの知識を得て、英語の文章を論理的に書けるようになることです。

内容

1	ガイダンス
2	意見とその理由を述べる フォーマットを知る・構成分析
3	意見とその理由を述べる 慣用表現
4	意見とその理由を述べる ライティング
5	賛成・反対の意見それぞれの理由を述べる フォーマットを知る・構成分析
6	賛成・反対の意見それぞれの理由を述べる 慣用表現
7	賛成・反対の意見それぞれの理由を述べる ライティング
8	比較対照の文章 フォーマットを知る・構成分析
9	比較対照の文章 慣用表現
10	比較対照の文 ライティング
11	順序、時系列 フォーマットを知る・構成分析
12	順序、時系列 慣用表現
13	順序、時系列 ライティング
14	復習
15	まとめ

評価

各課のライティング・プロダクト70%、平常点(宿題、参加態度)30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】モデルエッセイの未知語を調べ、文章の内容がわかるようにしておくこと。

【事後学修】学んだライティング・パターンを応用して書ける題材と理論展開を考え、アウトラインを作る。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ（改訂版）』（石谷由美子他、南雲堂、1900円＋税）

科目名	ライティング		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科専門科目の中のランゲージスキル科目である。選択科目であるが、英語教職課程の履修者は必修となる。

#### 科目の概要

短い英文のモデルエッセイを読み、その論理展開のパターンを学びます。そののち、そのパターンに従ってオリジナルエッセイを作成することにより、ひとつのまとまった内容を英語で書く訓練をすることを目的とする。

#### 学修目標(=到達目標)

一文一文を文法的に書くことに加えて、英文エッセイにおけるパラグラフの概念を学び、論理的な文章を書くことをめざす。

#### 内容

英文のモデルエッセイを読み、英語の論理パターンを学ぶ。授業では、「分類」「手順の説明」「言葉の定義」「意見と理由」「観察と分析」「データの説明」などのパターンを取り上げ、それぞれの文章に応じた書き方を練習していく。また教室での演習に加えて、各パターンごとに自宅で課題を行うことによって、実践的な英文読解のスキルを身につけていく。

1	ガイダンス・Unit 1. Conclusions/Reasons モデルエッセイの説明
2	Unit 1. Conclusions/Reasons オリジナルエッセイの作成
3	Unit 2. Analysis モデルエッセイの説明
4	Unit 2. Analysis オリジナルエッセイの作成
5	Unit 4. Controversy モデルエッセイの説明
6	Unit 4. Controversy オリジナルエッセイの作成
7	Unit 6. Classification モデルエッセイの説明
8	Unit 6. Classification オリジナルエッセイの作成
9	Unit 10. Process モデルエッセイの説明
10	Unit 10. Process オリジナルエッセイの作成
11	Unit 12. Definition モデルエッセイの説明
12	Unit 12. Definition オリジナルエッセイの作成
13	Unit 13. Explanation モデルエッセイの説明
14	Unit 13. Explanation オリジナルエッセイの作成
15	まとめ

#### 評価

期末テスト40%、平常点（課題、復習テスト、参加態度）60% とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】モデルエッセイを読み、その構成を予習する

【事後学修】モデルエッセイのパターンにしたがって、自分のエッセイを作成する

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ（改訂版）』，石谷由美子他，南雲堂，1900円＋税）  
その他適宜プリントを使用する

授業には必ず辞書を持参してください。



科目名	ビジネス英語		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、選択科目で、ビジネス英語を基礎から学習するクラスです。

#### 科目の概要

ビジネスの世界で必要とされる英語力を養成することを目標とします。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

様々なビジネスの場面で役立つ会話表現や英文ビジネス文書に関する基礎知識を習得し、実際に活用できるようになることを目指します

#### 内容

実物とTOEICで使用されるビジネスレター、メール、ファックスを利用しながら演習していきます。

1	ビジネス通信 (ファックス)
2	ビジネス通信 (電子メール・電話)
3	ビジネス通信 (手紙)
4	社交関連英語 (ホテルの予約)
5	社交関連英語 (移転通知)
6	社交関連英語 (招待)
7	社交関連英語 (面会)
8	社交関連英語 (会議の通知)
9	社内の英語 (資料の送付 )
10	社内の英語 (購入)
11	社内の英語 (報告)
12	取引関係の英語 (引合い)
13	取引関係の英語 (注文)
14	雇用関係の英語 履歴書・応募の手紙
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み(20%)、平常点(20%)、最終チェック(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】最低30分で課題を解いておく

【事後学修】間違えた箇所をチェックし、次回からクリアできるようにする

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Andrew Vaughan, Dorothy Zemach, Get Ready for Business, Book 2, Macmillan

科目名	ビジネス英語		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

基本的なビジネス英会話を学習する

挨拶から始まり、注文の受け方や顧客とのミーティング、取引相手の出迎えなど実際の場面でやくだつ表現を学んでいく

科目の概要

各ユニットのモデルの会話を暗記で覚えるのではなく、あくまでもどういう風に、どういう流れで会話すれば良いかのモデルとして使い、自分の言葉で話せるようになるよう訓練していく

学修目標 ( =到達目標 )

オフィスでの様々な出会い、取引、交渉などの中で、より上手に英語でコミュニケーションできるようになることを目標とする

内容

1	Introduction 本科目のテーマ、目的、概要、成績評価基準等を確認する
2	Unit 1 Welcome to the office
3	Unit 2 What time dou you close ?
4	Unit 3 I'd like to change an order
5	Unit 4 May I take a message ?
6	まとめ Review
7	Unit 5 Ring that up fior you ?
8	Unit 6 This way, please
9	Unit 7 I'd like to make a complaint
10	Unit 8 Could you fill out this form ?
11	まとめ Review
12	Unit 9 Welcome to Japan
13	Unit 10 What's your background ?
14	Unit 11 Here's your schedule
15	Unit 12 I'll see you tomorrow

評価

定期試験80%、授業貢献度20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】事前に単語の意味は調べておくこと

【事後学修】復習をしっかりとやること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Business Encounters 著者 Michael P Critchley 南雲堂

科目名	アドバンスト・リスニング		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

他学科に開放されている、メディアコミュニケーション学科の選択科目です。中高の英語の教免取得のためには、必須な科目の1つです。

##### 科目の概要

実社会で役立つ内容で、自然なスピードの音声を豊富にとりいれた教科書を使って、英語のリスニング力を高めます。

##### 学修目標 (= 到達目標)

CD2枚分の音声を全て聴きこなします。

#### 内容

毎週、1ユニットをします。かなり問題数があるので、予習が重要です。

各ユニットの初めには、音声なしの語彙問題があります。もちろん、これも予習が必要です。

各ユニットの終わりには、授業中にしか聴けない音声の問題があり、空欄穴埋め書き取り問題ですから、空欄以外の英語は、辞書を引いて予習しておいてください。音声が無くても、推測できる場合もあります。印刷されている部分は発音できるようにし、空欄の品詞は何かを予想しておいてください。

1. Asking and answering personal information questions
2. Describing people
3. Asking and talking about special events
4. Asking and talking about school subjects
5. Asking and talking about a trip
6. ASking about and describing homes
7. Discussing and bargaining for customer goods
8. Asking about and describing jobs
9. Asking for information and making excuses
10. Asking for and giving tour information
11. Placing and taking orders for take-out food
12. Asking and talking about stress and relaxation
13. Asking and talking about news stories
14. Talking about people you admire
15. Asking and talking about medical conditions

## 評価

小テスト各週5% × 15週 = 75%, 授業貢献度25% とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】 小テストやリアクションペーパーにコメントします。

## 授業外学習

【事前予習】 毎週、各ユニットの問題に取り組み、分からない単語は調べておくこと

【事後学修】 授業で取り組んだユニットの末尾の問題や補足小テストを当日実施しなかった場合は、次週に行うので、そのユニットの語彙や表現を復習しておくこと。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Hear Me Out 2 (David Nunan / 富岡紀子 著) センテージ ラーニング (株)

科目名	アドバンスト・リスニング		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 メディアコミュニケーション学科の「専門科目」内の「ランゲージスキル」選択科目です。

科目の概要 主にインターネット上のウェブサイトから興味深い、または新鮮で話題となっている事柄の英文テキストを選び、トップダウン (概要理解) とボトムアップ (語彙、表現、語法など) の両面から英語のリスニングを高めます。

Advanced (上級) のリスニングですので、英検 2 級程度を目標とします。

学修目標 (= 到達目標) 英語新聞、雑誌、ウェブサイトなどにあるある程度まとまった英語を聴き、比較的短時間で概要を理解できる英語力を身に付ける。

内容	
1	イントロダクション
2	ウェブサイト上の記事 1
3	ウェブサイト上の記事 2
4	ウェブサイト上の記事 3
5	ウェブサイト上の記事 4
6	ウェブサイト上の記事 5
7	ウェブサイト上の記事 6
8	ウェブサイト上の記事 7
9	ウェブサイト上の記事 8
10	ウェブサイト上の記事 9
11	ウェブサイト上の記事 1 0
12	ウェブサイト上の記事 1 1
13	ウェブサイト上の記事 1 2
14	ウェブサイト上の記事 1 3
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み (30%)、課題 (20%)、期末試験 (50%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

- 【事前予習】 指定された英文を聴き、概略をつかむこと。
- 【事後学修】 学習した英文の語彙や表現を復習し、定着させること。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】 教科書は使用しません。プリントを配布します。



科目名	アドバンスト・リーディング		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

<科目の性格>

この科目は、リーディング力をつけたい学生を対象としています。英語の文章を正確に、しかも速くよみたいと思っている学生や就職などのことを考え、英文に慣れる必要がある人にも良いでしょう。

<科目の概要>

新聞や雑誌だけではなくさまざまな媒体から素材を用います。また、ペアワークなどを通して理解した内容と伝える練習をします。

<学修目標>

受け身の力だけではなく、能動的な力をつけ、理解を運用へとつなげることが目標です。これによって、様々な資格試験への対応も可能となるでしょう。

## 内容

1. 導入(the invitation to the world of Snoopy)
2. Unit 1 Did he tell you to stop winking at Girls? (1)
3. Did he tell you to stop winking at Girls? (2)
4. Unit 2. I could have had an older sister to look up to? (1)
5. I could have had an older sister to look up to? (2)
6. Unit 3. Why don't we just keep it our little secret? (1)
7. Why don't we just keep it our little secret? (2)
8. Unit 4. All right, gang, it's time to start our spring training! (1)
9. All right, gang, it's time to start our spring training! (2)
10. Unit 5. How about an hour's worth of doughnuts?(1)
11. How about an hour's worth of doughnuts?(2)
12. Unit 6. I imagine the life of a surgeon can be very rewarding.(1)
13. I imagine the life of a surgeon can be very rewarding.(2)
14. Unit 7. I forgot her in fourteen doughnuts! (1)
15. I forgot her in fourteen doughnuts! (2)

## 評価

授業での取り組み20% 平常点15% 試験65%

## 授業外学習

【事前予習】単語を調べそのChapterを読んでくこと

【事後学修】特になし

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

十文字女子大学用 オリジナルプリント

科目名	アドバンスト・リーディング		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 メディアコミュニケーション学科の「専門科目」内の「ランゲージスキル」選択科目です。

科目の概要 主にインターネット上のウェブサイトから興味深い、または新鮮で話題となっている事柄の英文テキストを選び、トップダウン ( 概要理解 ) とボトムアップ ( 語彙、表現、語法など ) の両面から英語の読解力を高めます。

Advanced ( 上級 ) のリーディングですので、英検 2 級程度を目標とします。

学修目標 ( = 到達目標 ) 英語新聞、雑誌、ウェブサイトなどに書かれている英文テキストを読み、比較的短時間で概要を理解できる英語力を身に付ける。

内容	
1	イントロダクション
2	ウェブサイト上の記事 1
3	ウェブサイト上の記事 2
4	ウェブサイト上の記事 3
5	ウェブサイト上の記事 4
6	ウェブサイト上の記事 5
7	ウェブサイト上の記事 6
8	ウェブサイト上の記事 7
9	ウェブサイト上の記事 8
10	ウェブサイト上の記事 9
11	ウェブサイト上の記事 1 0
12	ウェブサイト上の記事 1 1
13	ウェブサイト上の記事 1 2
14	ウェブサイト上の記事 1 3
15	まとめ

評価

授業への取り組み ( 30% )、課題 ( 20% )、期末試験 ( 50% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】 指定された英文テキストを読み、概略をつかむこと。

【事後学修】 学習した英文テキストの語彙や表現を復習し、定着させること。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 教科書は使用しません。プリントを配布します。

科目名	アドバンスト・リーディング		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

映画と時代・社会との関係を洞察した英文を読み解きます。

#### 科目の概要

発展的なリーディングを行う、他学科に開放された、メディアコミュニケーション学科の選択科目です。中高の英語教免取得のためには必須となる科目の1つです。

#### 学修目標 (= 到達目標)

1. 知的な内容、やや抽象的な文章を読む力をつけます
2. 語彙力、イデオムの強化をはかります

#### 内容

新刊の教科書見本の中から、皆さんの先輩の在学生に選んでもらった教科書を使います。読んでいて楽しい内容のものを教材にするのが一番だと思ったからです。

毎週1ユニットずつ、1つの映画を取り上げた、平易な英語で書かれた評論を読み取っていきます。教科書の語彙問題や内容把握の問題を授業で答え合わせするので、予習が必要です。映画を事前に見ることは必須ではありません。

また、各ユニットには復習小テストが付属しているので、授業内にこれを行って、評価に含めます。

1. Star Wars
2. Frozen
3. Toy Story
4. Harry Potter
5. Harry Potter
6. Titanic
7. Stand by Me
8. Pirates of the Caribbean
9. E.T.
10. Back to the Future
11. Forrest Gump
12. Die Hard
13. The Dark Night
14. Good Will Hunting
15. The Devil Wears Prada

## 評価

小テスト各週5% × 15週 = 75%, 授業貢献度25% とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】 小テストやリアクションペーパーにコメントします。

## 授業外学習

【事前予習】 毎週、各ユニットの文章の単語を調べ、問題を解くこと

【事後学修】 授業で読んだユニットの小テストを当日実施しなかった場合は、次週に小テストをするので、重要な単語を読み書き・使用できるようにしておくこと

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Our Time, Our Lives, Our Movies (Joseph Tabolt / 森永弘司 著) 金星堂

科目名	アドバンスト・リーディング		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 メディアコミュニケーション学科の「専門科目」内の「ランゲージスキル」選択科目です。

科目の概要 主にインターネット上のウェブサイトから興味深い、または新鮮で話題となっている事柄の英文テキストを選び、トップダウン ( 概要理解 ) とボトムアップ ( 語彙、表現、語法など ) の両面から英語の読解力を高めます。

Advanced ( 上級 ) のリーディングですので、英検 2 級程度を目標とします。

学修目標 ( = 到達目標 ) 英語新聞、雑誌、ウェブサイトなどに書かれている英文テキストを読み、比較的短時間で概要を理解できる英語力を身に付ける。

内容	
1	イントロダクション
2	ウェブサイト上の記事 1
3	ウェブサイト上の記事 2
4	ウェブサイト上の記事 3
5	ウェブサイト上の記事 4
6	ウェブサイト上の記事 5
7	ウェブサイト上の記事 6
8	ウェブサイト上の記事 7
9	ウェブサイト上の記事 8
10	ウェブサイト上の記事 9
11	ウェブサイト上の記事 1 0
12	ウェブサイト上の記事 1 1
13	ウェブサイト上の記事 1 2
14	ウェブサイト上の記事 1 3
15	まとめ

評価

授業への取り組み ( 30% )、課題 ( 20% )、期末試験 ( 50% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】 指定された英文テキストを読み、概略をつかむこと。

【事後学修】 学習した英文テキストの語彙や表現を復習し、定着させること。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 教科書は使用しません。プリントを配布します。



科目名	英語資格試験準備講座		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

TOEIC (Test of English for International Communication )は、仕事や日常生活におけるコミュニケーションを英語で行うことを想定して開発されたテストです。また、そのスコアはしばしば社会で英語力を客観的に判断するための基準として用いられます。

授業では、スコアアップを目指して学習しながら、コミュニケーションに必要な英語表現を習得し、自然なスピードの聞き取りに慣れることを目的とし、各テーマの関連語彙や文法を確認しながらTOEIC形式のリスニング、リーディングの練習問題に取り組みます。また、実際に使える英語力をつけることを目指し、速読や口頭練習も行います。

#### 内容

各授業のテーマ、関連語彙、文書のフォーマットなどを学び、それらを使用したTOEICのリスニング、リーディングの練習問題に取り組みます。

スコアアップを意識した講義や練習を行うと同時に、TOEICの学習を実際のコミュニケーションに活かせるよう4技能 ( 聴く・話す・読む・書く ) につなげるための学習法を学び実践します。

1	オリエンテーション U1 Daily Life
2	U2 Places
3	U3 People
4	U4 Travel
5	U5 Business
6	U6 Office
7	U7 Technology
8	U8 Personnel
9	U9 Management
10	U10 Purchasing
11	U11 Finance
12	U12 Media
13	U13 Entertainment
14	U14 Health
15	総括

#### 評価

試験70点、小テスト20点、授業への取り組み10点の合計で評価を行い、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】各課の新出語彙を予習しておくこと (Check Your Vocabulary! Words in Context)

【事後学修】各課の Self-study quizzes (p.99~) に取り組む。 各課パート3、4のシャ

ドウイングを行う。(シャドウイングの方法については、授業で指導します。) 各課の授業内で終了しなかった問題に取り組み、復習まで行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Mark D. Stafford, Successful Keys to the TOEIC Listening and Reading Test 1 (4th Edition) , 桐原書店

【参考図書】『TOEICテスト新公式問題集』(Vol.5) Educational Testing Service

小石裕子 『改訂版 TOEIC(R) TEST 英単語 出るところだけ!』アルク

科目名	英語資格試験準備講座		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

## ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

### 科目の性格

TOEICをこれから受験しようと思っている人、受験したけど点数が伸びず、どのように勉強してよいかわからないという学生たちの為に開講される科目

### 科目の概要

Chapter 1 ~ 7 はTOEICの各Partについての基礎的なことを学ぶ。各Partがどのような問題形式なのか、またどの程度の時間で一問を解かねばならないのかについて知る

Chapter 8 ~ 13 はTOEICの各Partを効率よく解くための基本的なストラテジー ( 戦略 ) を学んでいく

### 学修目標 ( = 到達目標 )

リスニング問題への取り組み方や文法及び読解問題における「押さえどころ」を学び、問題演習だけではなく本物の英語素材を通じてそれらを身につけることで、より効果的に各Partを攻略することを目指す。出来れば出来れば新卒の平均は取得したいところである

## 内容

- 1 週目 本科目の目的、概要、成績評価基準等を確認する
- 2 週目 Part1の主な特徴&Part5の頻出問題；形容詞と副詞
- 3 週目 Part2の主な特徴&Part5の頻出問題；名詞と代名詞
- 4 週目 Part2の主な特徴&Part5の頻出問題；時制
- 5 週目 Part3の主な特徴&Part5の頻出問題；時制「完了形」
- 6 週目 Part4の主な特徴&Part5の頻出問題；受動態と動詞の形
- 7 週目 Part6の主な特徴&Part5の頻出問題；to不定詞
- 8 週目 Part7の主な特徴&Part5の頻出問題；接続詞と前置詞
- 9 週目 Part1の攻略法&Part5の復習問題
- 10 週目 Part2の攻略法&Part5の復習問題
- 11 週目 Part3の攻略法&Part5の復習問題
- 12 週目 Part4の攻略法&Part5の復習問題
- 13 週目 Part6の攻略法&Part5の復習問題
- 14 週目 Part7の攻略法&Part5の復習問題
- 15 週目 まとめ

## 評価

試験90%、授業貢献度10%とし、総合評価60点以上を合格とする

## 授業外学習

【事前予習】該当するChapterに目を通してくること

【事後学修】該当するChapterの語彙、語句を復習すること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】十文字大学用オリジナルプリントを使う

科目名	英語資格試験準備講座		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この科目は、英語能力試験の1つであるTOEICテスト受験のための、初級レベルの学生を対象とした準備クラスです。語彙、文法、リスニング、読解を総合的に学習して、実用的な英語運用能力を向上させ、TOEICテストに対応できる力を養成します。

TOEICテストにおいて、350点以上のスコア取得を目指します。

#### 内容

授業ではユニットごとに、TOEICテストの出題形式に沿った問題を解きながら、語彙、基本的な文法事項、リスニングとリーディングのためのストラテジーなどを学んでいきます。

知識の定着を図るために、授業で使用するテキストから2-3週間ごとで語彙に関する小テストを実施します。

授業には積極的に参加し、予習・復習を行うようにしてください。

#### 講義計画

- 第1週 TOEICテストとは？
- 第2週 Shopping / 動詞
- 第3週 Daily Life / 名詞
- 第4週 Transportation / 代名詞
- 第5週 Jobs / 形容詞と副詞
- 第6週 Meals / 時制
- 第7週 Communication / 受動態・分詞
- 第8週 Fun / 動名詞と不定詞
- 第9週 Office Work / 助動詞
- 第10週 Meeting / 比較
- 第11週 Travel / 前置詞
- 第12週 Finance / 接続詞
- 第13週 Business / 関係詞
- 第14週 まとめ (1)
- 第15週 まとめ (2)

#### 評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40% ( 授業への参加度・小テスト・課題提出 )

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の指定箇所を必ず予習して授業に臨んでください。

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】妻鳥千鶴子・田平真澄 『FIRST TIME TRAINER FOR THE TOEIC TEST <Revised Edition>』 Cengage Learning

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

科目名	英語資格試験準備講座		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

JGの学年のメディアコミュニケーション学科選択専門科目で、英検準2級合格を目指す人のための講座です。既にTOEIC対策の講座を受講した人でも履修可能ですが、同時に2種類の準備講座は履修できません。（英検対策準備講座の既習者も受講不可。）英検2級合格を目指す人のための講座は後期に開かれます。

2017年度中に英検準2級を取得することを目指し、問題を解きながら語彙力を伸ばして合格のコツを学んでいきます。

多くの単語・熟語・リーディング・リスニング問題に触れ、英検準2級合格レベルの英語力を身につけます。また、面接に備えた対策も行います。

#### 内容

各回の前半では、初回に行ったリスニングテストのディクテーションを行います。後半では毎回1つの問題形式を取り上げ、その特徴の説明や解答のために必要な能力を養っていきます。

受講生は必ず単語・熟語用ノートとディクテーション用ノートを用意してください。

1	コース説明・英検(準2級)リスニングテスト模試
2	1st Dayの前半・短文の語句空所補充問題の解説
3	1st Dayの後半・会話文の語句空所補充問題の解説
4	2nd Dayの前半・短文の語句整序問題の解説
5	2nd Dayの後半・長文の空欄補充問題の解説
6	3rd Dayの前半・長文の内容一致選択問題の解説
7	3rd Dayの後半・リスニングテストの解説
8	4th Dayの前半・面接対策
9	4th Dayの後半・面接対策
10	5th Dayの前半
11	5th Dayの後半
12	6th Dayの前半
13	6th Dayの後半
14	7th Day
15	内容確認、まとめ

#### 評価

以下の割合で点数化し、総合評価60点以上を合格とします。2017年度第1回（6月4日実施予定）の英検準2級の受験を前提とします。

(1) 期末試験・6月4日の英検受験結果： 60%

(2) 平常点： 40% （授業参加度、課題など）

#### 授業外学習

【事前学習】テキストの次回予定箇所を毎回やってくる。また、初回に行ったリスニングテストのディクテーションと確認作業は毎日1問ずつ、ディクテーション用のノートにやってくる。

【事後学修】わからなかった単語・熟語は単語・熟語用ノートにまとめておく。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『英検準2級予想問題ドリル 新試験対応版』（旺文社），1296円。

（初回授業で指示しますので、その後各自書店で購入してください）



科目名	英語資格試験準備講座		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この授業では、英検 2 級取得を目指し、予想問題を解きながら語彙力を伸ばして合格のコツを学んでいきます。

多くの単語問題やリーディング問題に触れ、英検2級合格レベルの語彙力を身につけます。

#### 内容

1	コース説明と紹介、1st day 筆記試験 ( 1 ) 2A , 2B まで。
2	1st day 残り部分
3	2nd day 筆記試験 ( 2 ) 2A , 2B まで。
4	2nd day 残り部分
5	3rd day 筆記試験 ( 3 ) 2A , 2B まで。
6	3rd day 残り部分
7	4th day 筆記試験 ( 4 ) 2A , 2B まで。
8	4th day 残り部分
9	5th day 筆記試験 ( 5 ) 2A , 2B まで。
10	5th day 残り部分
11	6th day 筆記試験 ( 6 ) 2A , 2B まで。
12	6th day 残り部分
13	7th day 筆記試験 ( 7 ) 2A , 2B まで。
14	7th day 残り部分、面接対策と心構え
15	内容確認、まとめ

#### 評価

以下の割合で点数化し、総合評価60点以上を合格とします。

- (1) Final test : 70%  
(2) 平常点 : 30% (小テスト、授業参加度、課題など)

#### 授業外学習

- 【事前学習】授業でカバーできなかった部分を課題として出すので、毎回やってくる事。  
【事後学修】解答を参考にそれぞれの問題を理解し、コツをつかむ。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【教科書】7日間完成英検 2 級予想問題ドリル ( 旺文社 )

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

#### 科目の概要

10日(65時間)以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

#### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備(心構え、情報や資料の収集等)をしっかりと行うことが重要である。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。また、確実な成果を上げるために、前期に開講される「インターンシップ入門」を受講すること。

#### 評価

受け入れ先の評価(A)、インターンシップレポート(B)、それに巡回指導(C)に基づいて行う。点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

##### 科目の概要

10日 (65時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

##### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。また、確実な成果を上げるために、前期に開講される「インターンシップ入門」を受講すること。

#### 評価

受け入れ先の評価(A)、インターンシップレポート(B)、それに巡回指導(C)に基づいて行う。点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

##### 科目の概要

5日 (35時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

##### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

#### 評価

受け入れ先の評価を考慮し、インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

#### 科目の概要

5日(35時間)以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

#### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備(心構え、情報や資料の収集等)をしっかりと行うことが重要である。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

#### 評価

受け入れ先の評価を考慮し、インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

##### 科目の性格

卒業研究の前段階として、各自今後の学習テーマを考える。また、ゼミナール内での議論を通し、各自の学習内容について検討する。

##### 科目の概要

自由な学習活動、ゼミナール内での意見交換により、自分の興味ある学習テーマを見出す。

##### 学修目標 (=到達目標)

1. 自己を振り返り、今後の学習テーマを探することができる。
2. グループで議論ができる。

#### 内容

各自の学習活動を通して、卒業研究に向けた学習テーマの候補を考える。

##### 例として

- ・コンピュータを利用した作品制作。
- ・アプリケーションの制作
- ・自然環境に関する学習
- ・身の回りの環境調査 など。

関連する参考文献、参考図書を各自探し、学習を進める。

ゼミナール内で興味ある学習内容について議論し、再検討する。

ゼミナールのまとめとして今後の学習の方向について文書化し、この時間に行った活動について報告書を作成する。

#### 評価

授業への参加度40%、最終時の報告書60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】前回までの進捗を確認し、今回やるべきことを整理しておく
- 【事後学修】調査結果等について再確認し、資料を整理しておく

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】使用しない
- 【参考図書】教室で紹介する

科目名	演習		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

脳の認識機能を中心に学んでいくゼミです。認知心理や神経心理の手法を取り入れ、私たちが物事を認識していくしくみと構造を理解します。

#### 科目の概要

まず、心理学の基礎知識をはじめ、神経心理、脳機能研究を加えていきます。言語、音楽、数学、社会、図形、絵、などの認識プロセスを理解します。

#### 学修目標(=到達目標)

自分でテーマを見つけられるよう、脳の基本的な知識を整理します。

#### 内容

1	導入
2	脳と身体
3	脳の解剖学
4	脳と感覚
5	脳と運動、コントロール
6	脳と情動、感情
7	社会脳
8	記憶
9	思考
10	意識
11	脳の個別生
12	脳の発達と老化
13	脳と脳の病気
14	異常性
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み20%、平常点20%、レポート60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の指定箇所を読んでおく。

【事後学修】既習事項を整理して、演習全体との関連、自分の興味と結びつける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】坂井建雄、久光 正『ぜんぶわかる 脳の事典』誠美堂（ゼミ時に配布）



科目名	演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

卒業研究の前段階として、仮の研究テーマを決める。また、レポートの書き方について、その作法を確認する。

##### 科目の概要

卒業研究に向けて、テーマを決め、研究方法についておおよその計画を立てる。また、研究に必要な参考文献、アプリケーションなどを揃える。

##### 学修目標 ( =到達目標 )

1. 卒業研究の(仮の)テーマを決める
2. 研究方法について見通しを立てることができる
3. レポートの作法を身に着ける

#### 内容

前期のゼミナールで考えた今後の学習テーマの候補のうちから、(仮の)卒業研究のテーマを決める。

さらに、

- ・研究の結果について予想を立てる
- ・研究の方法についておおよその計画を立てる
- ・研究に必要な参考文献・アプリケーション等を探し、揃える
- ・レポートの書き方についてもう一度見直し、作法を確認しておく

このゼミナールが終了するまでに、テーマ、研究結果の予想、おおよその計画について文章化する。

#### 評価

授業への参加度40%、最終時の報告書60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】前回までの進捗を確認し、今回やるべきことを整理しておく
- 【事後学修】調査結果等について再確認し、資料を整理しておく

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【教科書】使用しない
- 【参考図書】教室で紹介する

科目名	演習		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

脳の認識機能を中心に学んでいくゼミです。認知心理や神経心理の手法を取り入れ、私たちが物事を認識していくしくみと構造を理解します。

#### 科目の概要

まず、心理学の基礎知識をはじめ、神経心理、脳機能研究を加えていきます。言語、音楽、数学、社会、図形、絵、などの認識プロセスを理解します。

#### 学修目標(=到達目標)

自分でテーマを見つけられるよう、脳の基本的な知識を整理します。

内容	
1	導入
2	脳の背景と方法論
3	認知心理の歴史
4	人経過色の構造と機能
5	認知神経学の方法
6	コアプロセス
7	脳の半球の機能
8	感覚と認識
9	物体認識
10	注意
11	行動
12	情動コントロール
13	言語
14	社会認識
15	まとめ

#### 評価

授業根の取り組み20%、平常点20%、レポートの完成度60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の指定箇所をあらかじめ読んでおく。

【事後学修】既習事項を整理し、演習全体のなかでの位置づけ、興味との関連を理解する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】森田勝之『0歳から育てる脳と心』創元社

森田勝之『脳とこころを育てる50のあそび』チャイルド本社

（以上 ゼミで配布）

科目名	卒業研究		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

学科専門科目の必修科目である。

##### 科目の概要

3年次までに修得した知識・技術に基づき、学生自らが特定の具体的課題に対して主体的に取り組み、最終的にその成果を卒業研究としてまとめる。学部での学修の集大成として、この1年間を実りあるものにすることを期待する。

##### 学修目標 ( = 到達目標 )

卒業研究、卒業論文を仕上げる。

#### 内容

内容としては、メディア、インターネットなどといった情報技術を応用して、主に教育分野 ( 学校、生涯 ) へ適応できる情報システム、コンテンツのあり方、及び開発を念頭に置く。

方法は、実験を主とした研究、調査を主とした研究、測定を主とした研究、資料・文献による研究、作品・コンテンツを中心とした研究、などによる。

いずれも論文と成果物 ( 作品、コンテンツ、プログラム ) を必要とし、研究にあたり各自テーマを設定し、計画的に進めることが必要である。

3年次終了時に、仮テーマを決定する。

4年前期は、基本的な情報収集、開発するコンテンツやシステムの設計、研究テーマ、目的・研究方法の確立をし、夏休み前には具体的な計画に従って研究が遂行できるように準備を進める。

4年後期は、それぞれの計画に従って研究を進め、最終的な研究を仕上げる。

研究テーマは、学生各自で異なるので、適当な時間を使いながら定期的のうち合わせ、進捗状況の報告などを行うこととする。

#### 評価

卒業研究として内容・方法が適切なものであるか、また、論文・作品が期日までに提出され、卒研発表会でのプレゼンテーションが適当であったかを評価の対象にする。論文の内容・成果物を60%、発表会でのプレゼンテーション40%とし、合計評価が60%以上で合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】卒業研究に必要な調査、実験、制作などをおこなう

【事後学修】論文等の形式で正課をまとめる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

指定しない

科目名	卒業研究		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の「演習・」で学んだ日本及び国際社会の特徴についての知識をさらに発展させ、個々のテーマに焦点を当てた調査、研究を行う。単なる情報収集の段階から、集めた情報の体系的整理・分類と分析へ進み、分析結果の社会的及び学問的意義の検証の段階へと発展させていく。

前期は情報収集と整理、後期は集めた情報の体系的分類と分析に重点を置き、分析結果の社会的及び学問的意義の検証を行う。適宜発表を行い、発表者の論文を読者として読み、理解しにくい点を指摘し、改善のための議論を行う。

議論を通じて明確な文章を備えた、わかりやすい文章作成を行う。

#### これまでの卒業論文のテーマ

「食と地球環境問題」、「エコロジー流行の実態」、「企業の社会的責任」、「自然と共存する経済」、「異文化理解と教育」、「イラク戦争開戦の背景」、「小国の独立 - 少数民族の民族意識」、「ディズニーの買わせる技」、「ジブリとディズニーから見る現代に息づく日本の思想」など。

#### 内容

##### 前期

第1回～第5回：個々のテーマ選択、問題提起

第6回～第11回：テーマに関する情報収集

第12回～第14回：テーマ発表会用のプレゼンテーション準備

第15回：テーマ発表会

##### 後期

第1回～第5回：リサーチの経過報告

第6回：テーマの最終決定

第7回～第11回：リサーチ及び論文執筆

第12回～第14回：論文形式の最終確認

第15回：卒論発表会

#### 評価

発表・討論への参加(25%)、中間報告(25%)、卒業論文または制作物(50%)で総合的に評価

総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】提出物については、翌週以降の授業でコメント

## 授業外学習

【事前予習】 それぞれのテーマについて情報を収集し、発表の準備をする。

【事後学修】 発表後の議論で指摘された点を参考に、文章化する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業で指示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

自分の興味関心・問題意識によりテーマを選定し、卒業研究としての卒業論文を完成させていく

#### 科目の概要

卒業論文のテーマ、問題意識、目次構成、参考文献を記した卒論中間報告を作成、その上で卒業論文を作成していく

#### 学修目標 ( =到達目標 )

十文字学園女子大学において学んできて培った問題意識、研究手法、情報ツールの活用などを卒業論文を完成させることによって結実させ、4年間の総括とする

#### 内容

- ・資料収集 基本的文献、論文、ホームページなどを調べ集めていく。
- ・卒業論文の作成 校正、添削などを通じて推敲していく。
- ・発表 自分の卒業論文について発表し、議論する。

#### 評価

卒業論文(70%)、卒業論文の発表と平常点(30%)の総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】卒業研究作成の上での問題点、相談事項などをまとめておく
- 【事後学修】授業での指導を踏まえて卒業研究についての自分の考え・方向性を明確にする

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【推薦書】白井利明・高橋一郎「よくわかる卒業論文の書き方」ミネルヴァ書房



科目名	卒業研究		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

卒業研究を完成させる中で、自分の企画力、計画性、行動力、構成力、克己心などを向上させます。

内容

各人の研究成果の進捗状況を報告し、指導を受けます。

評価

プレゼン内容 ( 70% ) および討論内容 ( 30% )

総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】国際ニュースや国際的なメディアの動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【推薦書】渡辺武達、山口功二、野原仁編『メディア用語基本事典』(世界思想社)

田中浩編著『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』龍星出版、1996年)

田村、林、大井編『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』.世界思想社、2004年)

小玉美意子編著『テレビニュースの解剖学 - 映像時代のニュース・リテラシー 』(新曜社、2008年)

田中浩編著『EUを考える』未来社、2011年

玄武岩編『越境するメディアと東アジア リージョナル放送の構築に向けて』勉誠出版、2015年

科目名	卒業研究		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

**科目の性格** 日常の道具の使いやすさを対象にする。心理学では人間を対象にするが、ユニバーサルデザインでは、道具と人間の両方を視野に入れる点が、心理学と異なる。

**科目の概要** 情報社会が発展すればするほど、高齢者や障害者が取り残されてしまう、デジタルデバイドと言われる現象が問題になってくる。それゆえに、情報弱者となりやすいユーザのために、情報環境を整備する必要がある。情報環境に限らず、具体的な道具を取り上げ、有効な道具の条件について考察したい。

**学修目標** 使いやすく、わかりやすく、使ってみたくなる、具体的な道具を制作したい。実際に制作する過程で、使いやすくする工夫が難しいことを理解して欲しい。さらに、弱者の立場に立ってものを見る視点を養いたい。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけでなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。

例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけでなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

**フィードバック** 適宜提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか、具体的にコメントし、参考にしてもらう。

#### 授業外学習

**事前準備** 日常生活における道具の観察。90分

**事後学修** 自分の作成したレポート、作品と他者のものとの比較を行う。90分

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

推薦書かつ参考図書 野島久雄 ( 訳 ) 誰のためのデザイン 新曜社

科目名	卒業研究		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「ことばのしくみ」、「英語学」、「演習Ⅰ・Ⅱ」の内容が基礎となります。

#### 科目の概要

前期は言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に、各自が興味を持った分野について、基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、卒業論文の執筆を始めます。後期は前期で学んだことを発展させ、各自の選んだテーマに沿った卒業論文の指導を行います。

#### 学修目標 (= 到達目標)

前期は、(i)研究テーマの設定ができる、(ii)先行文献を批判的に読み、研究テーマの方向性を決める、(iii)先行文献の内容をまとめることができることを目標とします。後期は、(i)研究テーマに沿った資料を自分の手で集めることができる、(ii)集めた資料を分析し、自分なりの主張を論じることができることを目標にします。

#### 内容

前期は、研究内容にかかわる先行研究を丁寧に読み、まとめるという作業を行いません。

後期は、卒業研究に向けて、テーマの立て方、参考資料などの文献検索の方法、卒業論文の書き方などを指導します。卒業研究では、学生各自のテーマを設定し、それに添った形で発表をしてもらいます。毎週、それを添削します。積極的な授業参加が望まれます。

#### 評価

(1)平常点 ( レジюме、毎授業での発表 ) ( 40% )

(2)卒業論文 ( 60% )

とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】参考図書の指定された箇所を読んでおくこと。論文作成に入ったら、執筆予定箇所の原稿をプリントアウトしてこること。

【事後学修】論文作成に入ったら、添削、コメントの入った部分を次回までに修正してこること。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】各自の卒業研究のテーマに合わせて授業内で指示します。

【推薦書】なし

【参考図書】各自の卒業研究のテーマに合わせて授業内で指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

##### 科目の概要

卒業論文作成を行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ（就活での自己PRの内容）の完成を目指します。Mind-Map思考法の発展、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。

##### 学修目標 ( =到達目標 )

体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得！」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 論文作成技法
- 第3回 卒論プレゼンテーション1
- 第4回 就活サポート1
- 第5回 卒論プレゼンテーション2
- 第6回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画1
- 第7回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画2
- 第8回 調査データ分析法1
- 第9回 調査データ分析法2
- 第10回 卒論プレゼンテーション3
- 第11回 共同プロジェクト準備1
- 第12回 共同プロジェクト準備2
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン完成
- 第14回 PC論文作成サポート
- 第15回 フィードバック

#### 評価

卒業研究中間発表提出物による評価...30%、授業への参加態度...20%

卒業研究最終提出物・卒業研究発表会...30%、授業への参加態度...20%

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】個人の卒業研究テーマの進捗報告準備。ゼミでのプロジェクト進捗報告準備。

【事後学修】獲得したポイントにより下記のように評価します。\*毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問えを含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」「次回までの各自の課題」をメールで送信。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に説明します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Lクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目は卒業論文、または卒業制作を行っていく科目である。卒業研究とは、自分でテーマを選んで目標を設定し、その目標に向けて自分で資料を探して読みこなし、目標を達成していくものである。これまでの4年間で学習したことを十分に生かすことが期待される。

##### 科目の概要

卒業論文の執筆、または卒業制作を行う。年間でスケジュールをたて、目標設定から調査、章立て、執筆と計画的に行う。

##### 学修目標 ( = 到達目標 )

1. 3年の演習時にたてた筋道に従い、計画的に卒業論文を書き進めることができる。
2. 卒業論文を論文の体裁に則って作成することができる。
3. 卒業論文作成後、推敲を行い、完成度を高めることができる。

#### 内容

- ・漠然としたテーマでなく、どこまでを明らかにするのか明確な目標を設定する。
- ・仮説をたてる。その仮説に関して調査を進めることが望ましい。
- ・様々な文献を調査して、客観性の高い結論を導く。
- ・論文の体裁を理解して、それに則って書き進める。
- ・自分で推敲することができるよう、余裕をもって卒業論文の作成をする。  
推敲には書き上げたのち、少し期間をおいてなるべく客観的に読むことが必要である。
- ・議論を通して、より良いものを目指していく。
- ・締め切りに間に合うよう、計画的に研究を進めていく。

#### 評価

卒業論文または卒業制作への取り組み80%、授業への参加度20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】前回からの進捗についてまとめておく。
- 【事後学修】自分の計画に従って研究を進める。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【教科書】使用しない
- 【推薦書】木下是雄、理科系の作文技術、中公新書
- 【参考図書】教室で紹介する

科目名	卒業研究		
担当教員名	石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディアはよく「第四権力」と言われるが、この言葉の響きを必ずしもマイナスイメージだけでなく「国会・行政・司法」という3権をより成熟して自由な民主主義社会に導くための大切なもの」と捉えたい。そのためにはジャーナリズムが日々の活動を通して生み出す「コンテンツの質」と「メディアの屋台骨を支えるビジネス（いわばメディア産業論的視点）」の二面性（ロマンとソロバン）の吟味が欠かせない。より実際に即して、その具体的な理解を図る。

折々に広告も含めたマスメディアの現場にも出向くことにより、卒業研究はもとより、就職活動の参考にも資する。

## 内容

現代において、政治・経済・文化・国際分野で生起する出来事（時事問題）は、一見、それぞれが無関係のように思えても、人間の歴史と深く関わっていることが少なくない。その問題意識と洞察力こそ、コンテンツの社会への発信を担うメディアに問われているのであり、ゼミではニュースを掘り下げる双方向の学びをさらに追究したい。

3年次のゼミでは、マスコミ媒体の動静や時事問題、メディアビジネス（広告等）を中心に据えて各自が関心を持つ事象について、「卒業研究を意識し研究したいと考えているテーマ」を開陳しあった。これら（新テーマも含め）をさらに吟味し本格的な「卒業研究」に仕上げる。

卒業研究の内容をより重厚なものとするため、メディア企業への見学等を通してマスメディアで働く人の肉声に触れる。このほかフリーペーパー制作やWEB制作等にも関わり、社会で問われる総合的なコミュニケーション能力の土台となる（書く力・読む力・話す力・聞く力）を向上させる。

大学時代にこれをやった、と誇ることのできる「集中的な知的作業の達成感」は社会へ巣立つ時の大事な評価である。社会で競争に勝つ文章力 バランス感覚豊かな編集力から生まれる企画力 人間洞察と数字に裏打ちされた交渉力 日程を踏まえた確かな段取りの力 を能動的な授業を通して総合的に磨き上げ、「卒業研究」の完成自体も、「就職力・就業力」に収斂させていく。

## 評価

「授業に対する意欲・関心・態度」60点、「論文・課題等執筆」40点で、60点以上を合格とします。

## 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業の時に提示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

卒業研究として、各々ひとつのテーマについて、調査・制作・発表等を繰り返す。また、最終的なアウトプットとして「論文執筆」または「制作・副論文執筆」を行う。

##### 科目の概要

「メディア」に関するテーマを設定して、調査・制作・発表等を行う。各々の手法についてはゼミの中で議論し、より良いものにしていく。

##### 学修目標 ( = 到達目標 )

演習で各々扱ったテーマを、卒業研究として「論文執筆」または「制作・副論文執筆」のいずれかでアウトプットする。

#### 内容

15回のゼミを、以下のスケジュールで行う予定である。

- (1) イントロダクション 1
- (2) イントロダクション 2
- (3) ~ (10) 各々の、研究論文・制作等について進捗をプレゼンテーションし、フィードバックを行っていく。

(11) - (14)

論文、制作物についての仕上げ、並びに最終プレゼンテーションの準備を行っていく。

(15) 総括

#### 評価

参加態度 ( 50% ) アウトプットにおける評価 ( 50% )

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

事前 自分の研究テーマについて、定期報告の準備をおこなう。

事後 定期報告、ディスカッション、指導の内容を必ず消化して、卒業論文・制作を進捗させる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業時に指示



科目名	卒業研究		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Mクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

前年度の演習で学んだ、デジタル新聞を教材にした読解力・文章力向上をもとに、各自がテーマを設定し、日本文化についての研究を進める。

参考文献・先行研究の収集、取材、考察を経て文章化する。

以上のことを通して、日本の文化やこれを伝える日本のメディアに対する理解を深める。

これらの作業の集大成として、各自が論文を執筆する。

論文作成と併せ、前年度から取り組んでいる日本語能力 (文章力と話す力) のさらなる向上に特段の努力を重ねるプロセスの中で各種資格取得にも積極的に取り組み、就職はもとより、大学院進学の実現できるよう指導する。

#### 内容

留学生からみた日本文化を考察し、異文化理解の視点からテーマを設定する。既に3年次の演習においても、サブカルチャー・テレビドラマ・コマーシャル・旅行広告などに関心を深めている学生も少なくなく、さらにゼミ生が具体的なテーマを精査し、中間報告会などを設定し、論文化へのきめ細かな作業を進める。

互いの報告を聞き、批評し合うことにより、テーマへのアプローチを確かなものとする。

テーマがゼミ生全員が共有すべき内容として評価される場合や、テーマの深化がゼミ生全員の知的陶冶に結びつく場合は、共同で調査研究を進めることも展望する。かねて留学生は、雑誌やフリーペーパー、WEB等の成果物作成に高い関心を寄せ、言語のみならず編集スキルを日本で身に付けようとするモチベーションが高いことから、本学に設けられたクリエイティブな授業や活動にも積極的に参加する機会を持つよう促す。

留学生という立場を踏まえた就職相談、大学院への進学相談の機会を多く持ち、希望する進路に少しでも近づける道筋を教員とゼミ生と一緒に探る。

#### 評価

「授業に対する意欲・関心・態度」60点、「論文・課題等執筆」40点で、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業の時に提示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

卒業研究に向け、目標を定めて課題制作に取り組む。

科目の概要

ゼミのテーマである音楽、音響コンテンツ制作のためのより専門的な知識と技術を獲得しつつ、作品制作を行います。

学修目標 ( =到達目標 )

音楽制作のプロセスを理解し、制作ツールを使いこなしてコンテンツを制作することができる。

情報発信者としてのリテラシーを身につける。

内容

1. オーディオ編集のテクニック
2. エフェクト研究～応用編その1
3. エフェクト研究～応用編その2
4. 理論実習
5. スタイル別アレンジ講座
6. 卒業作品制作、副論文作成

進度は各自の学習状況に合わせて調整します。

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】日常的にクリエイター目線で能動的かつ分析的に音楽作品を聴きこむ。

【事後学修】課題に取り組むことによって技術をしっかりと身に付ける。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【推薦書】いちばんわかりやすいDTMの教科書 松前公高 著 リットーミュージック